前號發賣禁止

無産階級戰鬪雜誌

進め

第五年 八月 第八號

■誌代一ヶ年分拂込者にマルクス大寫眞を無代贈呈す■

■本號一覽■

□彈壓に直面して……卷頭言
□時評……同人
□戰術を論じて大衆に與ふ……福田狂二
□資本家側の健康保險法改廢の主張……丸岡重堯
□反逆餘憤……澤井龍之助
□親善の裡に潛む罪業の評價(二)……牛窪愛之進
□組織的抗爭へ……伊藤誠一

全土戰報

■無產青年の使命……中井市松
■爭議第一報……小松道俊
■憎むべき校長……三木田好美
■四國の水平運動……瀧川國雄
■無產青年に檄す……勞農青年同盟
■假面粉々……佐根泰郎
■戰端は開かれた……友實孫四郎
■熱を出せ!……丸山正之
■團結だ!戰へ!……淺井岩武
■民衆の前進……緒山倫
■覺めよ青年大衆……加藤一郎
■血迷へる官憲……李明德

□朝鮮社會運動發達論……金熙明譯
□似而非學者の面の皮を剝いで御覽に入れる……向軍治
□カール・マルクス(5)……カハン・コーテス
□批評「近世社會思想史大要」……青山明
□朝鮮社會運動小史(2)……金熙明
□創作 試練の中に……吉川金重
□講座 ロシアの勞働運動……淺野研眞

備へよ!智識は力だ!!

第二十版
マルクス寫眞集
本社編纂 一部五拾錢 送料四錢
内容
マルクスの生家、マルクス夫人、マルクスの原稿、マルクスの博士免狀、マルクスの署名、マルクスの旅行免狀、ロンドン亡命中のマルクス、ロンドンに於けるマルクスの住宅、資本論執筆時代のマルクス、晩年のマルクス、マルクスの墓、の十一枚。四六倍版アート紙、印刷鮮明、極めて美麗。

第二十版
社會思想家寫眞集
本社編纂 一部五拾錢 送料四錢
内容
サンシモン、フーリエ、オーエン、プルードン、マルクス、バクーニン、エンゲルス、ウヰルヘルム・リープクネヒト、カール・リープクネヒト、クロポトキン、ラッサール、レーニン、トロツキー、の拾三枚。四六倍版アート紙印刷鮮明、極めて美麗たり、無產階級の永久に記念すべきものである。

第拾版
日本勞働運動小史
淺野研眞述 定價五拾錢 送料四錢
内容
明治大正を通じての日本に於ける勞働者解放運動の全分野に渉つて、細大洩らさず僅か百三十餘頁の内に收めた手頃なパンフレツトである。尚ほ卷末に附せられたる統計、文献、年表は用意周到な貴重な者だ。苟も日本プロレタリア運動の史的背景を知らんとする者は必ず一本を備ふべきだ!

再版
生きる權利と儲ける權利
吉川源藏著 定價拾錢 送料二錢
内容
生は權利だ、人間として生を享けた以上は何人と雖生きる權利がある。然るに資本主義は平等に與へられたる無產階級の權利を剝奪してゐる。本書は不合理なる現制度を解剖して、人間權の確立を叫び、無產者の進路を示せる絶好の社會主義入門書である、眞理を摑まんとする無產青年は讀め!

再版
農民諸君に與ふ
神庭伸之介著 定價拾錢 送料二錢
内容
横暴例ふるにものなき地主の虐殺的搾取に、憤激說く所を知らざる農民諸君!農村の疲弊、田地の荒廢、青年の離村、而して諸君の經濟的窮迫等々の、所謂農村問題に對し、澎然擡頭せる近代社會思想は何を以つて之を解決せんとするか?農民諸君は舉つて、本書の示す社會主義陣營へ來たれ!

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

吾等の主張

一、資本主義制度を解剖して大衆を啓蒙す、

一、社會思想を解説して非搾取の社會を建設す、

一、解放團體の分裂を防止して全無産階級の團結を企圖す、

一、社會運動を鞭韃して戰鬪精神を振作す、

一、社會運動を攪亂する總ゆるものを討伐す、

第五年■戰鬪■進め■雜誌■第八號

彈壓に直面して

田中内閣の成立と共に、我々の豫想してゐた事が、まぎれなく現實のものとなつた。彼は資本主義末期の反動的役割を最も勇敢に、怯みなく實行する男であつた、農村の立入禁止、思想雜誌の發禁政策、學生の社會科學研究の壓迫等に見られる如く、おそらく勇敢な軍人であらう。だが、しかし、××××××××××××××。×××××××××××××××××。かるが故に吾等も奮起し、×××××××××××××××××××××××××××。

支配階級の行動は××××××××××××、××××××××××××××××××××××××××、××××××××××××××××××××××××××××××。こゝにおいてか、吾等の運動は、華かな買名の運動より離脱して、××××××××××、×××××××××××××××××××××××。

しかし、早計にも暗黑時代來の聲に脅かされる者は愚者である。こうした反動政治は、單に日本の現象のみではなく、世界共通の現象である。イタリーのムッソリニーの政治は云はずもがな、英國の保守黨内閣の反動政策、フランス、ドイツにおいても同様の事が云へる。しかし、世界共通の事實ではあるが、それは資本主義末期の過程における一現象に過ぎない事を知らねばならぬ。××××××××××××××××××××、××××××××××。×××××××××××××××××、後には新社會の果實が實るのである。

吾々は現象を見て本質を見ざるの愚を演じてはならぬ。一見、××××××××××、資本主義そのものゝ强大の如く、感じらるゝのである。然し、事實は全く反して、×××××××××××××、×××××××××××××××。

吾等はこの資本主義末期の反動政治に直面して、意氣益々壯んならねばならぬ。××××××××××××××××××××××。×××××××××××××××××××××、××××××××××××××××××××××××××××××××。

全プロレタリアよ、健鬪せよ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

同人時評

川崎問題

川崎造船所の動揺と共に、職工の不安はその絶頂にまで高まつてゐる。吾々は馘首絶對反對のスローガンを掲げて川崎一萬六千の勞働者の生活の爲め戰はねばならない。

組合同盟、評議會、總聯合、等は虎視眈々として、如何にして一萬六千の大衆を獲得すべきかに苦心焦慮しつゝある。

神戸において、從來微々として勞働運動が振はなかつた原因は、かの大正十年の大ストライキが空しく慘敗に終つたからであつた。今や、この沈滯した神戸においても、資本主義の行詰りは、つひに神戸の全勞働階級の覺醒を促すべく期待を與へたのである。

ブルヂョア政府は、預金部の金を動して川崎を救濟せんと圖つたが、猛烈な輿論の反對にあつて果す事が出來なかつた。川崎の救濟はブルヂョアジー自身によつて行ふべきである。國民の膏血をしぼつた金は彼等を救ふには餘りに貴金すぎるのだ。今後、川崎が三井に買收さるゝか、三菱に買收さるゝか、それは知らぬ。たゞ吾人は「馘首反對、賃下反對」のスローガンの下に大衆を動員し、××××××××××××××××××××××××××××××。

軍縮會議

名を軍縮會議にかりて、實は軍備の擴大を圖らんとする奇怪なる三國會議がゼネバの地において開かれてゐる。イギリス、アメリカ、日本の各代表は相互に詭辯を弄して「世界平和の爲め」などゝ聲明してゐるが、豈はからんや彼等は帝國主義國家としての野心を露骨に主張し、屢々決裂は告げられてゐる。例へば、イギリスの如きは實に現在勢力の二倍以上に擴張せんとする主張の如き、明かに大帝國の、殖民地の動きに對する、亦は資本輸出國の動きに對して恐怖を感じてゐるかを明かに表明してゐるものである。世界の帝國主義列强があらゆる努力を、反動勢力の結成に集中してゐる事は、資本主義の行詰りと、萬國のプロレタリヤの結成と、殖民地大衆の解放への叫びから來る必然に迫られてゐるからである。

彼等が軍備を擴大せんと努力するも畢、この資本主義末期における反動的役割をより有効につとめんが爲めである。何の軍備縮小會議ぞ。

吾等は、大衆に重き負擔をになはせんとする彼等の胸底を曝露し、やがては吾等を壓迫せんとするに違ひない軍備擴張に對して絶對に反對しなければならない。

東方會議

東方會議は終了した。東方會議は、田中軍閥内閣を主柱とする反動主義者の、如何にして帝國主義の根底を極東において確保せんかを協議したのである。その結果、彼等は再び支那民衆の大反對にもかゝはらず、我が利權擁護、居留民保護を名として、再三派兵をなし、文字通り×××××極東政策を實行せんとしつゝある。

彼等は一方において巧妙にも、社會民衆黨を買收して、彼等によつて支那國民軍を腐敗せしめんと企て、松岡、宮崎等を支那に赴しめた。

支那四億の民衆の憤怒は正に日本軍閥に集中されてゐる。×××××××××××、×××××、吾が大衆の眞の聲を支那に反映せしめなければならない。

アジヤの禍根、反動主義を葬れ。

對支出兵に反對せよ。

立禁反對

最近、農民運動が暴動化さんとする傾向のある事は、田中軍閥内閣が無暴にも一回の口頭辯論をも開かずして全國一せいに土地立入禁止等の非常暴壓手段に出たからである。生活の根底を脅威されて農民は默視する事は出來ない。政府は盛んに農業振興を宣傳し、政策として揭げてゐるけれども、彼等の言は羊頭を揭げて狗肉を賣る態度である。即ち、肥料調査會や、地租移譲によつては農村の平和は來ない。農業の發展は眞實の耕作人階級が安心して業を營む事が出來る樣にするを前提事とする。不勞所得階級を救濟する事によつては農業の發展は來ないのである

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ブルヂョアの爲すところの法律手段は現行法上許容されたものである以上、××××××××××××××××××。××、××。だが、しかし、吾等は耕作權の確立、生存權の確立等のスローガンの下に、農民大衆を動員し、××××××××××全面的に展開させねばならない。

日本勞農黨と山川の手

最近、日本勞農黨に堺、山川等の手が伸びてゐる事はすでに指摘したとほりである。山川直系の田所某が公然と入黨し、然も彼の勢力はあたりを拂ふものがある。

田所某は先に勞農黨を追はれた。勞農黨はすでに福本一派によつて戰ひ取られてゐる爲めに、山川、堺等は自らの勢力を維持し扶植すべき地を日本勞農黨に見出したのである。而して、最も精鋭なる策士田所をしてこの大役を果さしめつゝしてゐる。

山川等は日勞黨に自らの勢力を扶植した上ある時期において、勞農黨と合同し福本一派と戰はんとしてゐる。堺の無條件合同論の如き、明かにその意のある所を示してゐる。

日勞黨の大衆は、日本社會運動の上に幾多のわざわいをまいた堺、山川の手を知るや知らずや、默々として田所君の辣腕によつて切廻されてゐる。日勞黨は何處へ行く。

經濟恐慌の歸趨

吹き荒ぶ不景氣の大旋風は、容易に熄みさうもない。職に泣く失業者、明日のパンに思ひを焦がす無產者の、忍辱的生存が、果して何日迄續けられるであらうか。

深刻なる經濟的恐慌の行詰りは、今や、其の歸趨、所謂、落ち行く先を明示しなければならなくなつた。

無產階級の屈辱的生存が、此の恐慌の行詰りに際して、××××××××、××××××××××××××。

緊褌時代

現在、爭議の行詰りと共に一種の悲觀的氣分が各社會運動に從事する人々の上に萌し初め、頽廢的感情が漸次擴大しようとしてゐる。從來、少なくとも事が有利に進みつゝあつたに一變して、××××××××××××××××××××、××××××××××××、急に社會運動の前途を悲觀するは、決して運動に忠實な人であるとは云へない。この難關を切抜けてこそ初めて社會運動家である。

吾人が安部磯雄氏を、現在鈴木、松岡等の協調主義者に禍されてゐるとは云へ、尚その人格の偉大なりとする所以は、氏が日本社會運動と共に生れ惡戰苦闘、或ひはかの幸德事件以後の暗黑時代を勇敢に進まれたその終始一貫せる熱情にうたれしからである。

單なる爭議の行詰りに遭遇し、頽廢的氣分に醉はんとする者こそ、近來流行の所謂ダラカンの名に恥ぢざるものである。××××××××××××××××××××××××。

緊褌一番、この難局を克服せよ。

府縣會改選の準備に急げ

田中義一が農民運動の徹底的取締りを命ずるや、爭議中の地主の態度はにはかに變つて來た。こゝに血を見る慘事は演じられた。

地主階級は我が黨内閣の夢に醉ひ、農民の生存權は艱難に蹂躙されてゐる。選擧法によつても、自作農小作等の小農民の中においては可成りの選擧權者があつた。若し、不幸にしてプルヂョアジーの甘言によつて政友會に投票した小農民諸君は、この無暴なる政治を深く銘記せよ。

各府縣の府縣會議員選擧はすでに間近く迫つてゐる。新選擧法によつて新たに選擧權を獲得した被壓迫階級は、その共通利益を代表する黨を支持し、××××××××××××。黨は既成政黨の罪業の無能の數々を府縣民大衆の面前に暴露し、彼等の信賴すべからざるを敎へなければならない。

即刻、黨はこの準備に取りかゝれ。

頻々たる發賣禁止

現内閣の彈壓政策は、亦思想雜誌界にもその手を伸した。頻々たる雜誌の發禁は何を物語るか。本誌もすでに、六、七の兩號はたちまちにして發賣禁止となつた。「進め」は從來の發禁にこりて、亦これを全プロレタリヤ層に行渡らしめる必要上からしても、從來多少の屈辱を忍んでも、ブルヂョア當局の内閲を乞ふてゐた。然るに最近に至つて、當局は内閲を拒否した。而して發行するや、斷然として發賣禁止の命は下るのである。

この事は、彼等がプロレタリヤ雜誌に發禁政策を取りし證據である。その爲めにこそ、内閲すら拒否するに至つたのである。

それは實に、農村に於ける立禁政策に甚だ似通つた共通性がある。

この發賣禁止を問題とするものは、たゞ單に雜誌同人、經營者のみではない。××××××××××××××××る。×××××、×××全プロレタリヤ階級を動員しなければならない。

戰術を論じて大衆に與ふ

福田狂二

一

日本の社會運動もすでに三十數年の成長期を經過して、無産階級の間に實際勢力として擴大し結成するに至つた。勞働者組合、農民組合の人員三十萬を數へ、無産政黨の黨員五十萬を越へ、これに自覺せる未組織勞働者や、各思想團體を合すれば優に百五十萬の亘數に及んでゐる。而して、その實力はよく既成政黨に對峙し、資本家階級に對抗するに足る樣になつた。余の如く二十年前の社會運動を想起するものはその當時において僅か數百名の小數の思想運動に過ぎなかつた事を思ふて感慨無量である。

洵に、吾が國の社會運動は大江の如く洋々と流れて盡くるところを知らず、やがては新社會の曙光を見るも近きにあらんと前途を思ふてひそかに喜ぶものである。

しかし、こゝに警戒を要するは一抹の暗雲の流れさまよう事である。それは實に日本共産黨閥の傳統的政策である。この閥こそ多年吾國の社會運動をして内訌を起さしめ、結束を破る結果をもたらしつゞけて來たのである。

すべての運動は、社會の經濟的條件に原因するとは云へ、この客觀的條件を認識し、これに働きかくる人によつて初めて起るものである。片山潛氏は勞働者風の朴訥な人格を有し、如何にも社會主義者らしかつた。西川光二郎氏は熱情的で志士的な革命的なところが多かつた。反之、堺利彥氏等は新聞記者上りの政略的な所が多く純情を少しももつてゐなかつた。此の故にすでに初期時代において、幸德、堺氏は、先輩たる片山氏を葬り、西川を驅逐せんとした排他的精神が旺盛であつた。當時幸德を初め、堺氏も山川氏もクロポトキンを傳ふに吸々として、社會主義者たる片山、西川を非社會主義者として、即ちクロポトキンの無政府主義以外の者は社會主義者でないといふ理由で片山、西川の先輩同志を葬らんとして、其の一派である森田榮治をして、所謂ブルヂョア新聞たりし二六新聞に依りて罵り辱かしめ、日本社會運動の上に君臨し、閥外の者を葬らんとする排他的精神はこゝに初めて生れて來たのである。こは實に堺氏の陰險なる性格の致すところにして社會運動には極めて危險なる事と云はねばならぬ。吾等年少にしてマルキストたる片山一派に屬し、堺や大杉や山川等からアナキストにあらざるが爲めに、非社會主義者であると云はれ罵られ閥外の小數人として常に侮辱の標的となつたのである。

彼等は常に無政府主義を奉じ乍らも社會主義の衣をもつて蔽ひ實に吾等のマルキシズムを論難攻撃した非社會主義者であつた。こしが爲めに、西川、片山氏を排斥し木下尚江氏を逃避せしめたのである。純眞なるものは必ず彼等に葬られた。かくの如くにして彼等は日本の社會運動に從ひ、常に私情を以つて之を左右し、正しきを虐げ弱きを亡し、奸を助け、邪なるを味方とした。吾々はつとにこれを發見し、彼等一閥は社會運動を攪亂するものとして討閥運動を起せしは幾度なりしを知らず。

大正四年ロシヤ革命起るに及べ彼等は十數年の主義主張を捨てゝ此處にボルシエズムを奉ずるに至つた。その後大正十年に及び大杉榮のロシヤに通ぜんとせしを機緣として、彼等堺山川荒畑等はロシヤと結び、こゝに日本共産黨の組織を見るに至つた。(大杉はボルシエズムたらんとしたが堺、山川荒畑等に運動資金を橫領されし爲め、ロシヤと關係を斷つた。大杉が如何に日本共産黨の惡辣な行動を憤慨したかは、彼の著(日本脫出記)を見ればよく分る)ロシヤ共産黨は潛行運動と稱して閥以外のあらゆる者を葬るをその傳統的政策としてゐる。閥の排外的私情は巧に潛行運動の理論をもつて彩られてその戰術となつたのである。この排他的行動は今日の吾國社會運動の紊亂を甚大ならしめた所以である。堺、山川は福本和夫氏の出現によつて、今や共産黨より葬られしも、この精神は共産黨の成員個々の魂に喰入り社會運動上かくの如き非行を平然として行ひ、或ひは之をもつて正道なりとして盛んに行つて恬として愧づる色を見せないのである。

二

資本主義に對する社會主義運動は××××。×××××××××××。×××××××××××××××。しかし、吾等は次の事をはつきり認めておかねばならぬ即ち「敵は資本主義にあつて味方にあらず」といふ言葉をである。社會主義運動は私の運動ではなく階級の運動である。こうした社會運動の上に君臨する閥を組織して、其の祭壇の前に禮拜せさる輩は直ちにその排斥を圖るが如きは社會運動を私的な機關の獨占にしようとする態度である。日本の社會運動の上に陰然たる閥を作つて、丁度ブルヂョアジイや封建的遺物の連中が、長州閥や、薩州閥を作つてゐる樣にしてゐるのが、即ち日本共産黨閥と稱する曲物である。薩派や長派あるところブルヂョア政界に害

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

毒ある樣に、閥あるところ必ずや社會運動を紊亂せしめて了ふ。プロレタリアの陣營は亂れざるを得ない。自閥以外の者の擡頭に對しては、ひたすら嫉妬の目をもつて向ひ、つひに之を陷入れる。これを陷入れんとするや手段を選ばうともしない。

彼等は自黨以外の者を、墮落幹部と稱して、その黨員を煽動して内部より崩壞せしめ、自黨に引入れんとしつゝあるのである。かくの如くにして、彼等は一團を減ずるも、彼等の陣營に所屬し來たる者の極めて少數なるは最近の狀勢である。かくの如くにして組合は亡びその精銳なる幹部は逃避するの止むなきに至るのである。實に今日の社會運動者程盛衰浮沈の甚しきものは歷史上かつてないのである。しかも正しき者、純なる者は必ず共產黨がダラク幹部の汚名をもつて葬り、反動主義者として攻擊の矢を放つのである。かつて大正十四年において勞働總同盟が富士瓦斯紡績川崎工場の爭議を開始するや、應援を名として爭議の攪亂を企てしは世間周知の事實にして爭議を破壞して資本家の味方を間接にせるものではなかつたか。かくの如き事は日本共產黨閥、及び評議會の數十回試みしところにして擧ずて數ふるに遑あらず。

かの水平社における内部を攪亂せしものは水平民にあらざる共產黨の一員にして、巧みに純眞なる幹部を葬り四分五裂ならしめた。その他自治會における幹部に對して荒畑某がロシヤの利權を與ふると欺き、これを味方に引入れんとせしも、肯ぜざる爲め自黨の機關紙をもつてダラ幹と攻擊し、内部の黨員を煽動して葬り去らしめんとせしも不可能に終つた。

彼等は手段を擇ばず、主張の違ふ者は自己一流の理論をもつて之を陷入れんとしてる。彼等の云ふダラク幹部とは果して如何なるものなりや、到底社會主義思想をもつて又人間的道德をもつて論ずる事が出來ないのである。

彼等の攻擊方法は、資本主義組織即ち現代における政黨の心理と同一のものである。政友會が憲政會を攻擊し、憲政會が政友會を攻擊すると等しく、眞理公平を缺ぎたゞ自黨あつて民衆を知らず、自閥あつてプロレタリヤ階級を知らないのである。

かつて、現共產黨系の幹部渡邊政之輔等が、大正十一年の車輛工爭議において、從業者の爭議を拒絕し資本家に買收されし事あり、今彼等は評議會の重要幹部として働きつゝある。彼等はすでに勞働者同胞を賣りし前科者である事は云ふをまたない。かくの如き徒輩を評議會に求むればその數擧げて數ふべからず。余は數十件の、事實を實見してゐるが、これは省略して置く。舊共產黨員北原龍雄が、ロシヤより來りし一萬三千圓の宣傳費を大阪の株式市場において費消せし如き、德田球一の東京株式市場において數萬圓を費し着服せし事は、之亦天下周知の事實にして、余等は無產階級の名の下において、又共產主義の旗の下において彼等を石をもつて打たざるべからず、かくの如き徒輩が共產黨の幹部を結成するが故に、他の團體はみな自己の如き階級道德を知らざる者の如く見るがごとき、或ひは又自己の非を蔽はんが爲めに先手を打つて善良なる幹部を葬らんが爲めに、ダラク幹部の名稱を我神聖なる社會運動内に濫用したのであらう。

夫れ、社會運動者は大衆の儀表たるべき人格を有せざるべからず。無賴漢的人格を有する者は社會運動にたづさはるを許さざるを原則とする。しかるに共產黨系の幹部の多くはこの點において先づ失格しなければならぬ。

三

日本共產黨の政策は、ロシヤ共產黨の最も惡しき點のみ學び用ひる。

先進ロシヤの政策戰術悉く用ひるは些か迷信的である。其の勝れたるを採り、其短を捨て、以て吾國の社會狀態に適用し、以て大衆を啓蒙し大衆を隊伍に到せしめなければ、無產階級の國家は生れない。徒らに模倣しては反つて健全なる社會運動を攪亂する事になるのである。

最近、余は支那北伐軍内訌の眞相を調査し、武漢政府一派の行動が如何に『陋劣』であるかを發見した。即ち彼等は蔣介石の革命的行動の優れたるを嫉み彼を陷入れんとしてかの南京事件を惹起せしめたのである。蔣介石に外交問題を轉嫁して、間接に帝國主義者から葬らしめる方法を探つたのである。支那の無自覺な勞働者を煽動して、打倒蔣介石と大聲叱呼せしも、蔣は巧みに之を切拔きよく北伐の目的を達しつゝある。こゝにおいてボロヂン一派は再び流言を放ちて、蔣介石は張作霖の軍國主義者と握手すると、内外の新聞を利用して謠言せしも、亦蔣介石の行動は彼等の言と異り反つて中華民國無產階級の正道を進みつゝあるは、かのロシヤのボロヂンの指揮する武漢政府等よりもはるかに社會主義的精神の濃厚なるを認め得るのである。

余輩の度々論ずるが如く、支那の資本主義は外國資本を中心としてゐる。されば支那の革命は先づ外國資本主義を驅逐する事である。この列强國の魔手を驅逐せざる以上、支那に社會主義を建設する事は夢想である。これをボロヂン一派の武漢政府は自覺せずして蔣介石の名聲を嫉み、彼を陷入れんとしたのである。一の事業、即ち社會主義建設の前提となるべき反帝國主義運動が未だ成らざるに、小野心をもつて、その重大なる過程を紊亂せしめようとした。二の事業成立するまでは蔣介石如何に孫文主義者たらうとも武漢派と提携する事が出來る。然るに、この大事業を忘れて、蔣介石の名聲を嫉み、かゝる行動に出た事は支那の爲めに惜まざるを得ない。余はかゝるロシヤコンミュニストの傳統的精神を憎ま

ざるを得ない。帝國主義打破の事業を攪拌する事はこの任務を忘れる事である。即ち社會主義建設の事業を忘れる事である。而して、結局一も二も共に挫折せしめる事になる。

余は、かくの如き小野心の前には、何者をも犠牲にし、大なる任務をも忘却し、同じき道を進み行かんとする同志を、排斥せんとする彼等の卑劣なる精神を、世界のプロレタリヤと共に唾せざるを得ないのである。彼等は團結の旗を掲げて、内亂の劍を揮る者である。そは實に對資本主義の闘爭にあらずして、プロレタリヤ陣營内における闘爭である。同中に異を求めんとする闘爭である。

例へば、彼等は總同盟の如き組合は反動化してゐるから潰して了へと云ふのは、余輩のにはかに之を首肯し得ざるところである。吾人もとより、總同盟の右傾化を喜ぶものではないが、審かにその右傾化して行く原因を尋ねれば、日本共産黨一派の徒らに同中に異を採らんとする行動の爲めである事を知るのである。彼等の陋劣な攻撃は、總同盟をして内省せしめる機會を與へず、反つて必要以上の反動化をもたらすのである。而して混亂の結果をもたらすの以外何者をも得られぬ。

彼等は少數派の團結を唱へ、亦精鋭を集めて社會變革の事業を大成すると稱するは詭辯も甚だしきものである。×××、×××××××××××××××。たゞ徒らに多少の主張を異にする同胞團體に向つて破壞を試みるが如きは所謂小兒病と罵倒さるゝ所以である。

理論闘爭は大に爲さねばならない。思想發達の上からして、亦階級意識を積みかさねる上からその盛大なるを喜ぶものである。然りと雖も今日の理論闘爭に、インテリゲンチャの書齋で組合した觀念論であつて、實社會と離れてゐるので理論的價値が乏しい。其弊害はプロレタリヤ團體の破壞であつたのである。これは日本の社會運動が最も雄辯にこれを物語るものである。

日本のプロレタリヤは資本主義と戰ひつゝ、亦内部同志と對資本家以上の闘ひをすべく敎へられつゝある。余はこれを嘆ぜざるを得ない。いづれの改革を見ても、少數の者が指導し、大多數のプロレタリヤは之に引づられて行くのである。多數を理想的に啓蒙する事は極めて難事である。かるが故に、余は他の組合團體を攪亂するといふ事は無用であると思ふ。亦、之を指導する者は聰明にして人格者でなければならない。

四

所謂左翼と稱するロシヤ派は果して眞の左翼であるか、亦は反動的であるかは余は急いで決定する事は出來ないが、所信を披瀝して讀者諸君の判斷に任せる。

ロシヤを典型とし模倣する者をすべて左翼だと云ふ事が果して正當であらうか。勿論、吾人はロシヤのプロレタリヤ×××××××××××××、××××××××××××××××××。しかし、その革命後如何にロシヤ官僚が右傾しようとも、それを是なりとしてゐるロシヤ崇拜者を一見するとき、吾人は彼等の高唱する左翼の稱呼に甚しき矛盾を發見する事が出來る。

この間の國際經濟會議においてロシヤ代表は、ロシヤは資本主義と社會主義の混合國であると云つた。日本の左翼をもつて任じてゐる人々は、ロシヤを完全なる社會主義國家であると思つてゐるその矢先、ロシヤ代表の此言をもつて如何と爲す。

日本共産黨系の新聞は云ふ。蔣介石は生温き孫文主義者で、帝國主義者と極めて妥協的な所が多いと。然らばその手法をもつて行けばロシヤの資本主義的なところは正に槍玉に擧げられねばならぬ筈ではないか。こゝにも大きな矛盾がある。孫文主義とロシヤの現狀とが何處が違ふか。

ロシヤ崇拜者は悉く、ロシヤ政府の政策を是認し、社會主義的だと思つてゐる。その盲目的にして自然主義的な見解や正に憤飯にたへないのである。ロシヤを完全國として崇拜し、自ら左翼だを稱するのは、かの愚民が生佛を崇拜し、自らその使徒であると得意になるに等しい。要するに彼等には社會主義的意識の充分に成熟せざる事を證據だてるものではないか。

吾々は一切を勞農ロシヤに傾注し、ロシヤの政策、命令、を悉く奉ずるは眞に、社會主義に忠實なる所以ではない。

ロシヤの政策、ロシヤ政府幹部の右傾をファン的見地を去つて冷靜に考究するところがなくてはならない。右傾せるロシヤの崇拜者が日本において左翼であるとは、いさゝか余輩の耳に矛盾に響くのである。

社會變革の大事業は最も困難にして最も機微を要する。他國の模倣必ずしも效を奏せず、指導者たる者は聰明でなければならぬ。余輩はファン的見地を去つて××××××××××××××××××××××××直面しなければならぬ。

五

要之、日本の社會運動はかくの如く盛んにして、かくの如き危險を包藏してゐる。これは堺、山川氏等に養成されし陰險なる排他的自壞的なる閥的意識である。かくの如くにして彼等は大衆を疑ひ、大衆を敵となし、味方を疑ひ、味方を敵と爲しつゝある。

最後に支那武漢派の巨頭陳獨秀の行動を報ずる。彼はかつて、京漢鐵道總罷業の際、盛んに勞働者を煽動し作ら驚くべし一方軍閥の巨頭吳佩孚を煽動して大彈壓を加へしめ罷業勞働者數千名を銃殺せしめた。

諸君は陳獨秀をもつて深謀ある社會主義者と爲すか、はた亦、大衆を裏切る敵と爲すか。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

資本家側の健康保険法改廃の主張

丸岡重堯

健康保險法改廢の問題は、最近愈々やかましくなつて來た。勞働者側も動き出した、資本家側も、そして醫者側も動き出した。政府もどうやら次期議會には改正案を提出すべく、目下準備中である。尤も私はいま茲で、健康保險法に關する各派の主張に觸れようとするのではない只、資本家側の主張に就て述べようとするのだ。

今日、私が特に讀者諸君の注意を惹起し度いのは、同法實施の直前直後に於ける同法改廢の叫は就中、勞働者側に著しく、資本家側の叫は殆んど聞かれなかつたに反して、最近では、その叫は就中資本側家に著しいことである。尤も資本家側の叫び乃至は運動は、いつもそうである如く、公然的且つ宣傳的でない爲めに、それ程一般世人の注意を惹かぬまでゞある。然らば最近に至つて、資本家側が斯くも同法を問題視するに至つた所以如何といふに、惟ふに最近、就中金融恐慌後に於ける經濟界の惡化に依る資本家側の窮況に加ふるに、同法實施後私傷病の增加著しく、資本家側の負擔過重から漸やく不滿の聲を聞くに至つた矢先、今春、常磐炭田地方に闘はれた勞働爭議、就中、常磐炭礦のそれに於て、同法が惡用されたといふ宣傳が資本家社會に可なり大なるショックを與へたことである。謂ふ所の健康保險法の惡用とは、同法に依り被保險勞働者は、傷病の際、休業しつゝ六割の賃銀を得らるゝことゝて、爭議の際には、相率ゐて假病を構へて缺勤し、その保險給付金を罷業資金に充當するといふことである。そして今や同法實施後に於ける私傷病の增加も亦多分に假病者の增加に依るものであるとの見解を持するものが殖えて來た。斯した事情の下に於て、最近、資本家側に於ては、健康保險法の廢止論をすら聞くに至つた。私は、いま茲に最近資本家團體、工業クラブに於ける健康法調査委員會にかける原案となり、目下審議を重ねられつゝある、正しく資本家側の代表的意見たる藤原銀次郎氏の意見を紹介し、それに就いて少しく論評することゝする。即ち同氏の改正意見の主なるものは左の五ケ條より成る。

一、保險事故を私傷に限局する事。

二、保險費用は原則として被保險者の負擔とすること。

三、保險を相互組織の下に經營すること。

四、強制主義を棄て任意保險とすること。

五、職員を被保險者中より除外すること。

第一は、從來、工場法及鑛夫勞役扶助規則に依つて事業主から賠償を受けつゝあつた公傷病を健康保險事故に加へ、保險費用を勞資折半に負擔することは社會政策なる假面の下に却つて勞働者側の負擔を增すものだとなす勞働者側の反對論に應へたものであつて、それなれば、輕微なる傷病にして從來醫療の必要なかつた程度のものも強いて之を受け、休業の必要なき者も尚ほ之を要求するに至り、爲めに工場の不和と事業の能率とは大に阻害せられつゝあるから、此弊害を除去する爲めにも公傷病と私傷病とを區別して前者に對する賠償は之を從前通りにして事業主のみの單獨負擔にせんとするのである。がその代りに第二の改正意見として、況して現行保險制度の下に於ては之を惡用し虚病を構へ休業手當を受けて罷業資金に充てる者あり、又醫療を受けざれば損であるとなし相率ゐて不必要な醫療をも受ける者少なからざるは、其の由來する所、保險費用を事業主と勞働者との等分負擔としたことに在りと云ふべきが故に、保險費用は原則として被保險者自身の負擔とし、醫療費と休業手當の額大なれば大なる程被保險者自身の負擔を大ならしめることを知らしめ、被保險者をして相互に保險制度の惡用及虛病の阻止監督の任に當らしめることを要するとなし、只國家及び資本家は保險制度が健全に運用せらるゝことを條件として、國庫は從前通り保險給付金の十分の一、資本家は保險料金の三分の一を夫々負擔することにすべきであるといふに在る。更に第四の點は第二の點と共に、同氏の改正意見の基本をなすものである。即ち第四の點は、要するに、被保險者たる勞働者側の同法に對する不平不滿が餘りに多過ぎる。勞働者の爲めに作られた同法が却つて勞働者側から斯くも反對されるのであつたら、強制主義は廢止するにしかず、そして之が實施並に加入は自由に放任せよ。要するに、勞働者の未だ要求しないものを強いて與へたのが間違ひである、と云ふのである。

工業クラブの調査委員會、否一般資本家に於ても多くは斯した根的改正意見、寧ろ廢止論には心ひそかに共鳴しつゝあるものゝ如くである。そこで私は以下、此等の改正意見に據つて生ま

れた健康保險法の所謂惡用の事實に就いて議論を進めなければならぬ。

先づ第一は磐城炭礦に於ける休業手當の罷業資金充當說に就いてゞある。之れは、勿論、事實の性質上、その何れとも之を適確に斷定出來ないが、假りにそうして事實がそれ程顯著であつたとして只玆に不思議なことは、健康保險法實施以來、全國に勞働爭議の鬪はれたもの蓋し無數、磐城爭議に比すべきものも決して少なくなかつた筈だ然るに爭議に關聯する健康保險法惡用の事實、尠くともその主張は、私寡聞にして磐城爭議の當時まで之を聞かなかつた。一體之れは何を意味するか。社會局の某官吏は此點に就て、私に次の如く語つたことがある。要するにそれは常磐地方、就中、磐城には事情をそこにまで導いた素因があつたものとみる外ない。抑々炭坑の事情に少しく通じてゐるものは、誰しも知つてゐる如く、常磐地方の炭坑は、其經營が就中放慢、不統一である。斯した事情からしてのみそうした保險法惡用の說明が求めらるゝのではなからうか。保險法の運用如何を炭坑經營の一般から切り離して考へることは出來ないからである、となし、更に同樣のことが假病に依る休業、醫療者の増加に於けるこ保險法の惡用等に就いても云ひ得ることは勿論であるといふて居る。蓋し資本家側の急所を突いたものと云へよう磐城炭礦も、その隣坑の入山採炭も共に、保險法實施前と爭議後とでは、公傷は殆んど變らぬに、私傷病は約十倍以上の増加を示して居ると云つて居る勿論、之れは極端な例ではあるが、一體に、斯した現象の現はれてゐることは事實である。試みに、工業クラブが最近發表した所の工場及鑛山に於ける健康保險法實施前後の傷病及休業數調査をみるに次表々示の如き結果を現はして居る。

健康保險法實施前後に於ける傷病及休業數

(一) 工場の部

全勞働者對傷病者比率及休業日比率

月末	業務上 昭和二年	業務上 大正十五年	業務外 昭和二年	業務外 大正十五年	休業日比率 昭和二年	休業日比率 十五年
	割	割	割	割	割	割
一月	〇、〇九	〇、一二	二、九二	二、六八	〇、一九	〇、一八
二月	〇、一二	〇、一一	三、一四	二、八二	〇、二七	〇、一九
三月	〇、一三	〇、一一	三、一〇	二、七九	〇、二八	〇、一九
四月	〇、一三	〇、一〇	三、一二	二、八五	〇、二九	〇、二一
五月	〇、一一	〇、一一	三、六二	三、一二	〇、二八	〇、二二

(備考) 調査組合數は大正十五年一月―四月 廿一組合
同年十五年五月 廿組合
昭和二年一月―四月 三十四組合
同年 五月 二十四組合

(二) 鑛業の部

全勞働者對傷病者比率及休業日比率

月末	業務上 昭和二年	業務上 十五年	業務外 昭和二年	業務外 十五年	休業日比率 昭和二年	休業日比率 十五年
	割	割	割	割	割	割
一月	〇、八一	〇、六一	一、三七	〇、四三	〇、八五	〇、四九
二月	〇、七〇	〇、五三	一、六〇	〇、四五	一、二四	〇、五五
三月	〇、八八	〇、六四	一、八〇	〇、五三	一、二四	〇、五一
四月	〇、八三	〇、六四	一、九九	〇、五二	一、二九	〇、五三
五月	〇、七六	〇、六八	二、三〇	〇、五五	一、八八	〇、六三

(備考) 調査組合數 大正十五年一月―四月 十組合
同 十五年五月 八組合
昭和二年一月―四月 十一組合
同 二年五月 七組合

表に依つてみるも、工場、鑛山を通じて、業務上の傷病の増加の割合に業務外の傷病の増加が如何にも著しいことがわかる。就中、鑛山の方に於て然りである。之れは例の常磐地方の炭坑を包含するからでもあるが、一體に工場よりも鑛山に於て著しいことは掩ふべからざる事實である。然併、吾々からみれば、斯した業務外の、即ち私傷病の増加の顯著なる事實は、寧ろ保險の實效を現はしたものとして喜ぶべき現象なのである。いふわけは、保險法實施以前に於ては醫療を受け缺勤すべくしてそうなし得なかつたものが、實施後にはその恩惠に浴し得たことを示すからである。それにしても多過ぎると云はれるかも知らぬが、何しろ未だ法律實施直後の今日のことゝてその増加には、多分に過渡的な現象がある。即ち從來累積してゐた病氣が一時に殺倒した傾向があつたことは容易に想像される所である。工業クラブの調査し發表せる「健康保險法實施の影響」の四、勞働能率に及ぼす影響、及、傷病率に及ぼせし影響をみるも「從來漫慢的として放置したる齒科耳鼻科婦人科等の疾患を健保給付に依り治療せしむるものは増加したるが云々」といふ風な文句が隨所に散見するにみても此間の事情は裏書される。從つて斯した増加には時期的に一定の限度があるものと私はみて居る。果して然りとすれば、藤原氏の如く、保險費用の被保險者負担、強制主義の拋棄、任意保險主義の採用を主張するが如きは、餘りに性急、輕卒に失すると云ふ外ないが、而も此際、殊に一般の注意を惹起したいのは、被保險勞働者の假病の増加と所謂不必要なる醫療の増加に就てゞある。假りに斯した事實がありとするもそれは決して勞働者のみの責ではなく醫者側にも、進んでは法規共者にも責があることを看過してはならぬ。

反逆餘憤

澤井龍之助

○例の震災手形法案と臺灣銀行救濟で儲かつた田中政友會内閣は時日旬日を出でずして、其の（新時代に適應した）と云ふ自由主義的精神）假面をカナグリ捨て、持前の反動主義的鋒鋩を現はし始めた。今更乍ら、驚ろくにも當らぬが内閣總理大臣と自惚れる――勿論實際にもそうだが、事實は田中如き者が總理大臣なんかになるのは劍劇小僧に政治をヤラス様なものだ――田中義一は往年、西剌利亞出兵××××××。彼は西伯利亞出兵の大失態に懲り〱して否事實は現世界に於ける唯一の無産階級國家の勞農露西亞の赤衞軍に散々、苛められ痛め付けられて遂にい恥を曝したのであつた。即ち政友會原内閣の横暴時代に於いて、彼は諸閣僚の反動分子と共に世界の兄弟、勞農露西亞に對して、强壓政策に出たのであつた。然しそれの全然、失敗であつた事は世人の既に知れる所である。

○今や彼は此の積年の恨を報ずる心算であるのか、思はぬ儲けに轉げ込んだ内閣總理大臣の椅子にあり付くや否や突如！有色知事を更迭せしめ、一擧にして地方自治體をば、自黨の旗下に征服し、今秋の縣會議員選擧に於いて普選後最初の大干渉を行はんとして居るのである。それかあらぬか、田中内閣出でゝより農村に於いては土地の立入禁止處分、都會に於いては勞働爭議の暴壓等、いまや、資本主義最後の段階に於ける帝國主義的反動政策に日も是れ足らぬ有樣である。今秋の普選後最初の縣會議員選擧に對して、彼等ブルジョア政府並びに職業政治家共は此の新興無産階級の擡頭を極度に恐怖し、先づ最初の一擊を振り下さんと待ち構へて居るのだ！從つて、新興無産階級の政治勢力の最も勃興せる全日本の農村に向つて、彼等は未曾有の彈壓振りを發揮しつゝあるのである。开は正しく從來に見る自然發生的、御都合主義的抑壓運動より、目的意識的計畫的××××××××××××××××××。

○況んや今次の田中内閣なるものに至つては、其の意識的構成は愈々、露骨峻烈を加へ和製ムツソリニーの例へに漏れず着々、其の機鋒を現出進展せしめつゝある有樣である。然し乍ら、此のブルジョア政府に於ける反動政策は田中内閣がやると否とに拘はらず、又憲政會――現在では民政黨――内閣が政權を取つたにした所で、五十歩百歩の政策に過ぎないであらう。何故なれば、現段階に於けるブルジョア政府並びに政黨及政治家は以上の如き政策を執らずしては×××××××××××××××××××××である。

○今次の神戸川崎造船所の救濟問題について、最初、高橋前藏相の發明で大藏省預金部の資金三千萬圓支出を決意したが何日の間にか預金部資金運用委員會なるものが出來てゐるのを知らず始めて氣が付き、達磨さん、これは危ないと見て取つて直ちに辭職し、お次の三土藏相が又もや手を觸れかけて輿論の反對に相逢ひ遂ひに田中反動首相に一任される事になつた。所が當の田中反動首相は×××××××××××經濟財政の問題ときてはソレこそ劍劇俳優に算盤ヘチカス樣なもので×××××××××××××××××××××××××××、×××××××××××××××××××××××××。ソコで大倉組の差押へ――實は差押へを强制したらしい――事件を種に遂に無細工にも打切り、投出して了つたのである。――とは云へ其の眞相は何んであるか。曰く、政友會のマネージャー三井の魔手が蠢めいてゐるとは祠ならぬ、川崎造船所、一萬六千の職工は愚か世の七千萬人の全民衆も焉んぞよく知り得るものぞ。

○日本は將に資本主義的帝國主義の最後の段階、經濟的に懸らかに獨占時代に侵入した。これを政治的に云へば金融寡頭政治時代に入り込んだものと云はなければならぬ。

此の資本家に於ける大攻勢に對して我が無産階級の陣營を見る時、噫！开は又何等の感慨やある！只知る而已。愚論鬪爭の閑葛藤を。

いまや、吾々は×××××××××××××××××××××××。×××！×××！×××××××××××××××××××××××は×。現在の運動家を見る時、吾等は正しく現今の腐敗政治家の策士の如きペテン士を想起す。アマリにジャナリズムにおかされ過ぎて居るではないか。

明治時代の社會主義運動を觀よ！我々は何日如何なる時と場合に於てもアノ呼吸を忘れてはならない。今の運動家はあまりにお坊つちやん過ぎて居る。第一學生派なんて云ふ穀ツブシ共が巾を効かしてゐる間は到底眞の社會主義運動は起らない。

遮莫吾々は殺倒し來らんとする資本主義×××××××、××××××××乾坤一新、男らしくも××××××××××、×××××。×××××××××××××、×××××××××××。×××××反動勢力を征討し克服し畢らなければならぬ。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

親善の裡に潜む罪業の評價（二）

牛窪愛之進

序（續）

支那の國際的存在を叙述し合せて槩述の現況に及ぶ列強政策の評價を爲すとせば先ず過去の歴史を引證せざるべからず。

然れども支那の上下數十年に捗る國際史を評論すとせば其東力西漸、西力東漸と云ふが如き單なる國際關係を検討するのみにしても到底簡潔を期する能はず、只々其著名なる事象を拔萃するに於ても優に數百の稿を要す可き也。

吾曹の論趣は史家の史實を研讚考證して史傳を編むの類に非ずして、民衆解放運動に座する支那の現局と國際關係回顧の諸連鎖を一の簡明なる人類的解釋の俎上に拉し來りて民衆同志の前進に資せんとするものなるが故に今之が批判の端を近く拾七世紀以後にとり資本制帝國主義の支那侵迫開展の時機より論究し始むる事とす。次序は固より歴史的開展に伴ふて順舉せんとするも論趣の赴く處往々にして首尾を轉じ行文又愈々蕪雜なるを免がれざる可し。これも一に情引旁證の足らざる不學の徒が陷り易き過失と同志の寛恕と垂敎を乞ふておく。

一、西歐列强の東漸

起因、初期、亞片戰爭

マルコポーロの東遊記（東方見聞録）に端を發する西歐に於ける東方探求思潮の隆興に伴ひ（一四八六）喜望峰（Cake of Yood hoke）の發見となり次でコロンブスの亞米利加大陸發見の大事業（一四九〇）による海事思想の普及は著しき發展を示し『海へ海へ』と乘り出す『幸運の探索者』は經月經年其數を增し來り之に伴ふ航海術の進歩は年々歲々歐亞の巨離を短縮し來り蒙昧なる冒險は逐次學術の進歩とまちて運輸事業の發展に結果し、單純なる東西物資交換の形式は體系的マーカンテルシステム（商業組織）の完成と偕に貿易事業の研讚となり、海賊的奪取潛居は組織的の殖民政策の實施に變じ次で僅々一世紀を出でざる內に資本制國家の進出により漸次資本と武力による殖民地侵略の途へと異常なる發達を見るに至つた。

かくして西歐に起つた『海へ海へ』の聲は遂に『東洋へ東洋へ』のスローガンに變じたのであつた。

茲に於て拾七世紀の初め頃には僅々其根據を南支の沿岸島嶼の一隅に置き老獪なる支那官憲の鼻息を窺ひつゝ年數回に過ぎざる交易に從事しつゝありしものが、一星霜毎に其勢力を增大し北進の步度を速め來り、次で印度經略に殖民の甘きを滿喫したる資本英國の經營による東印度會社が東洋席捲の理想の下に其の壓倒的勢力を進め來るや殊に著しき急速なる境地の開拓となり、只々經濟的手足を伸展するにあきたらず、合法的殖民政策を實施す可く、先ず、互市協定を締結して支那內地侵迫の途に就き始めた。目標は固より楊子江沿岸に於ける豐潤なる富源開拓にあつた事は云ふ迄もない。

然し乍ら當時は未だ禮儀三千威容の中華を誇る頑迷固陋の支那官憲の了解を得る爲めには現時の狀態と其位置を轉倒したる狀況にて兵船武器の如き示すだに得ず、威赫の一理も現し得ず徒に巨多の賄賂を贈呈し其甘心を購ふに汲々たる有樣であつた。

勿論支那の未知なる勢力の前に一種の逡巡を覺えたりと見るを得るも一面には敵の弱點に喰ひ入るの以前に於て之を究めんとする資本特有の仕切時期であつた。

北方に隣接せる强豪ロシアに於て此を見るも國內に於ては强壓無道を恣にする專政旗下の勢力を以つてするも、支那に對しては一握の商品を賣るに當つても使臣を北京に派して禮を厚くせざるを得なかつた。

近世東洋史上國際條約の先鞭をつけ得たるネルチンスク條約に於て（一六八九）すら通商互市の協定は明に相互對等の範圍を出るを得ず越えて二回に涉るキヤクタ條約の締結を經るに及んですら公使の駐在と露支境界の決定により幾分ロシヤ側に有利なる協定を遂げ得たりとするも、他に何等優逸なる地位を獲得したるに非ずして、宗敎上の特殊關係を除く外は僅に數名の露人が北京滯京を認許せられたるのみにして、沿岸貿易は勿論林業、礦業、交通の權利獲取の如き夢想だも及ばざる處であつた。【當時の露商船は遠く南支沿海に下降して西歐諸國の船舶に交りて通商を餘儀なくして居つた】

然れども茲に重大なる看視を爲す可き事態が發生して居る。當時の支那官憲に對する贈賄の習慣が夫れである。後世、軍閥官僚の盤踞と共に支那は紛亂の巷に化しこの大國を誤りし禍根は此處に其の第一節をおろし始めたのであつた。即ち一貫せる賄賂政策が連綿として今日に及び、借款對利權搾取の因泉となり領土の分割民力の疲弊、民衆地獄苦現出の大繩が此時代より綯はれ始めたのである。

かくて一八三四年に至りて列强特に英國の不撓不屈の實收政策の努力は遂に當該官憲の甘心を購ひ續いて北京政府の首腦を動かすに及んで資本列强所期の第一陣たる廣東開市を手始めに沿

岸五市の門戸開放の幕が切つて下ろされたのであつた。

　是れ我が日本の門戸開放條約に先つ僅に三拾年の古きに過ぎず。如何に民情、國風の相違あるにもせよ、彼我現局との比を想ひ見れば商港開發下に於ける目標の相違と資本濫用の猛威との因果關係とが如何に緊接なるかを推察し得るに足るであらう。

　茲に愈々通商開港の條約は結ばれた。されど列強資本の鉄鎖は未だ搾取機關施設の範圍に至らず所期の收獲、着銑、運用も其の特殊地域に限られ、此茲數年の間は表面の紳士、紳商の取引、交際の感があつた。

　然し作らこの平和なりし裏面には一劍を附すの準備が用意されつゝあるも知らずして支那當局は嬉々として鼓腹し、豐滿なる財物を天朝に對する貢物也と錯覺しつゝ、一「[illegible]より輸る」など自惚れ、得意の色を見せつゝ何等[illegible]外交の秘事に努力を傾ける事無く、時に要人建議して之が對策に鋭意せしものありたるも「紅毛の豎子何をか爲さん」と號して顧みる無き有様であつた。

　一大轉機は遂に起つた。

　俄然「眠れし獅」遂に其鋭尖を眠れる支那の心臓深く突き入れた。

　巨大の犠牲的失費と[illegible]の割讓に家猫の如く雌伏しつゝ支那の虚と[illegible]機とを狙ひつゝ好餌の奥にするどき鈎を隠しつゝ長き釣糸を手繰りつゝあつた英國の手に依つて支那領土分割の大味を料する大獲物が其第一爆を水平線上に澎湃として釣り揚げられた。

　オ！夫れは計畫に計畫せられたる資本家獨特の巧妙なるトリックにかゝつたのであつた。

「一大轉機——巧妙なるトリック」。所謂支那國恥史上を鮮明に彩る英清爭鬪の序幕たる亞片戰爭の發端が一八四〇年南支の一隅に多恨なる火蓋をきられたのである。

　吾曹が列強資本排斥の剔抉は愈々此邊より勇躍のメスを振ひ始める。

組織的抗爭へ

伊藤誠一

　今や、×××××××我が國資本主義は、××××××××××××××。××××××。×××××××、××××無産階級の、××××××××。

　此れに對する、我々の陣地は、餘りにも貧弱にして脆く、分裂に分裂を重ねてゐる現狀の見苦しさに、呆然たらざるを得ないのである。

　我々は戰ふ以上、そこに、強大な力を持たなければならぬ。資本家の計畫的總攻撃に對して、我々は、果して、此れを受け止め、又は、抗爭するだけの力があるであらうか。茲に於て、我々は痛切に、強固なる組織を必要とする。分裂騒ぎのみ繰り返へしてゐては駄目だ。我々は總ての野心を投げ捨て大きな階級的精神に依つて、即ち、階級的利害の一致點と言ふ事に思ひを止めて、全無産階級を打つて一丸とする共同戰線の下へ集らなくてはならぬ。

　我々の社會へ到達する迄は、勿論、幾多の犠牲を必要とするであらう。然し、我々の××××××、×××××××、××××××××××××××××。××××××××××××××××××でなければ、ならないんだ。犠牲を必要としないで來る様な社會ならば、恐らく碌な社會ではあるまい。我々は、××××××××××××、××××××××××××××××××××××。彼等の壓迫が無くなれば、最早、社會運動をする必要がなくなつてゐるんだ。即ち、既に、×××××、×××××××、××××××××××××××××××××××

　故に、我々は、現存のブルジョア既成勢力の前に、×××××、×××××××××、でなければならない。我々の威力は、××××、××××××××。

　正義の前には、如何なる×××××××、××××××××、何等の×××××××××××××××××。我々は團結と云ふ、威大なる結合の力で、彼等と×××××、×××××××××××××××××××××。

　×我々の理想とする×××××××××××、××××××××、×××までは、不斷に、而も執拗なる抗爭の、方法と手段と、即ち、闘爭戰術に、凡ゆる×××、×××××××××××、×××であらねばならぬ。我々の×××××、飽迄も正義の××××××、××不變の××××××××××××。無産階級共同戰線の下に、強大なる××××××、××××××、×××××××××××××××××、××××××××××××。××××××××××××××。

　社會進化の、歴史的必然の法則が、彼等と我々の××××××××××××××××××××。歴史の車輪を止めんとするが如き愚を×××、××××××××××××××××××××××××××××××××××。×、×××なるべき我々の×××××××、支配階級の××××××××××××、階級的[illegible]切り、[illegible]變節を×××××、××××××××平として而も峻烈に拒否すること、それである。

　我々の共同戰線の前に、×××××、×××、××××××××××××××××××××××××××、×××××××××、大同團結を結成せよ！××××××××××××××！×××××××××××××××！

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

朝鮮社會運動發達論

——日本と對較してその急速なる發達の諸原因を究明す——

金熙明（譯）

茲に譯出する全文は朝鮮文雜誌『現代評論』六月號に金平山氏執筆のものである。朝鮮運動の過去、現在、未來を日本運動のそれと對比研究し特殊な事情の下にある朝鮮運動を理解するに極めて恰好な文献であることを信じ茲に譯出する。（金）

一 序言

朝鮮に於ける社會運動は、いま漸く八九齢の歴史を算するに過ぎない。之を一世紀にも近い歸史を有する歐洲社會運動若しくは數十年の歴史を有する日本の社會運動に比較すれば未だ羽も生へぬ狀態にあると云つても誣言ではなからう。しかしながらその歴史的時間がかくも淺短なるにもかゝはらず現今朝鮮社會運動が先進諸國のそれに比し極めて急速なる發展を爲し遂げたことは否定を赦さぬ事實である。茲に於て我等は朝鮮社會運動が先進諸國のそれとその發展上に自ら相違せる特殊性の存在するを發見し、又その將來に於て多大なる期待を有し得る前提條件と看做すことが可能である。即ち朝鮮社會運動はその發生に於ては極めて遲れてゐたけれども、その發達に於ては極めて飛躍的進展を見、先進諸國のそれを陵駕する駸々たる情勢にあるのである。

我等が一郡に一人の同志を有するやうになれば我が運動は如何に有利に進展するであらうかと、我等の運動の成長が遲々たるのに焦燥したのはいま四五年前の事實であつた。しかしながら現今になつて如斯言を發する者があらうとせばそれこそ大笑の至りであらう。何故か？それは我が運動が已に一郡に一人以上の同志を有するやうになつたのは三年以前の過去のことであつたのだ。斯くして我が運動が昨年以來多少沈滯せる傾向があるのも事實ではあるが、しかしながら我等は之を單に表面的現象にしか解釋し得ないものである。即ち我等は運動の各部門を網羅する二千有餘の團體の組織に成功し、なほそれに所屬する十萬以上の會員を擁有することに成功した。從つて之に隨伴する幾千の勞働夜學が續々と出現するに至りなほ全國に散在する新聞雜誌の各支分局と密接なる關係を保ち戰線の報導を敏速ならしむるに至つた。加之、郷村と都市を通じて未だ戰線に出でず書齋に潛居して階級的理論の研究に後頭してゐる學徒を到る處に無數發見する事が出來る。其他教育に從事する教員、校室に圍まれた幼い學生の頭腦にさへ階級的思想の醱酵を探得することが極めて容易である。如斯我等の運動は未だ十年の星霜を越へないけれども今日に於ては量的に見ても急速的擴大を見るに至つた。

然らば朝鮮社會運動が如何なる理由の下に比較的短時日の歴史しか有しないにも不拘如斯急激なる發展を爲し遂ぐるに至つたであらうか？斯の原因を研究し闡明するは單に朝鮮社會運動の特質のみを理解するのに必要なるのみならず全世界の今後の運動が如何なる經路を踏むべきかを豫測するに極めて必要なる關心事だと思ふものである。

——譯者附註。文中傍點で示せる「勞働夜學」「新聞雜誌」とは日本人經營のそれに對立する純朝鮮人運動であることを附記する。

二 日本運動より發達上有利なる條件

我等はいま朝鮮社會運動發達の內容を究明するに當り、我等が最も近隣とし、また我等の運動に多大なる教示を與へる日本社會運動と對較して論ずるをそれを理解するに最も容易であり、なほ一種の興味をその中に感ずることゝ信ずる。

日本社會運動の歴史はいま三十餘年を算すべく、若しその胚胎期までを算入するものとすれば四十年若くは五十年に近いものであらう。如斯その歴史が已に久しき故、その運動が現に我等が視る如く深刻に大衆化され、組織化され彼等の建設せる尨大なる新興勢力は、現今朝鮮社會運動の勢力を以てしては未だ比較の程度でないのが事實ではある、けれどもこれを更に歴史的期間の長短より對較すれば已に謂へるが如く我等は、日本社會運動の發達速度が朝鮮のそれに比して極めて遲々たるものであることを發見することが出來る。我等はいまこの兩國の運動の發達に遲速の差を與へる諸原因を指摘して論ずるであらう。

1、思想輸入の時代が異る

日本に於ける社會主義的思想が輸入されたのは明治二十年代前後と謂ふことが出來る。即ち當時の日本は封建的舊勢力打破に成功し資本主義の新制度樹立にその基礎工事の多忙なる時代であり續いて惹起したる日淸、日露の兩戰後は國民的敵愾心を高潮して思想界は殆んど日本民族の東亞雄飛を皷吹する帝國主義的支配下にあるのみならずなほ當時は社會主義思想の發源地である歐洲に於てもその運動が今日の如く一般的に大衆化されず、その思想的分化もその時より始めて徐々に作用を始めた。その時に當り社會主義思想を輸入した日本はほんの一部の知識階級に依りそれが研究され論議されたばかりである。それが直ちに大衆に注入され呼吸するには、諸々の事情があまりにも多くこれに及ばなかつたのである。

然しながら朝鮮に於ける社會主義的思想を輸入したのは、それとは全然異る時代であつた。即ち當時は歐洲大戰が丁度終熄を告げ思想的潮流が世界的

に一大轉換を來したばかりでなく、朝鮮に於ても十年以來の長夢より喚起した民族的覺醒の叫喊が全國に震撼して思想的に甦生する機運が正に成熟するに相待つて目前に進行する露西亞革命はブルジョア國家の總ゆる陰謀と呪咀に反し無產階級の獨裁が着々とその效果を奏し全世界のプロレタリアをして民衆の威力が如何に偉大なるかを實際的に感念せしめる當時であつた故、これに際會して社會主義思想を輸入する朝鮮に於ては恰も飛行機上にありて照明彈を投下するが如き放散的形勢を以て全朝鮮の暗黑なる民衆の頭腦に驀然たる烟を與へることが出來た。

2、思想輸入の方法が異る

日本の社會主義的思想の輸入は當初に於ては非社會主義的一部の論客、學者に依つて之を輸入し彼等は決して之を宣傳せんがためではなく單に一面に彼等の豐富なる智識を誇り、また他の一面に於ては斯る學說理論も有するといふ一種の好奇心に依り發せられ時々月刊雜誌其他に斷片的に紹介されたに過ぎなかつた。即ち德富蘇峰を中心とする「國民之友」一派がその好例と見ることが出來る。（**若し當時に於て彼等は社會主義が今日の如く日本支配階級の一大脅威になる先見の明があつたとせば狡猾なる彼等は決して敵に武器を與へるが如きかゝる愚かな智識的遊戲はしなかつたであらう**）斯くして始めて紹介された社會主義は初め少數學者の間に研究的興味を惹起し、再び有閑階級の消遣的論議にも上るやうになる間に已に眞摯なる主義者が生ずるに至り、またその主義者の周圍には遊星を圍繞する小衞星を彷彿する若干の同志を發見するに至り、如斯幾つかの細胞は更に幾十幾百の無數なる同類細胞に分裂繁殖して遂ひに今日の如く民衆の腦髓に深く〱寄ふことの出來ない限り社會主義的思想の種子を播くに至つた。

これに比して朝鮮に於ける社會主義的思想の輸入はこれと全然趣を異にしてゐる。即ち思想封鎖の鐵條網の中に在り久しきに亘り一切の外界思想と全然絕緣し知的飢餓に瀕死の狀態にあつた朝鮮民衆は斯る一旦且つ絕對解放の思想に接觸するや、久しく空腹を感じた彼等は競つてそれにありつき玉饌を充分に咀嚼する餘暇もなく鵜呑みにすることに忙しかつた。更に之を別言すれば日本の社會主義的思想の發達は深山幽谷の岩間より湧出する泉の流れが時間的に容積を增加して終りに大海を爲すであらうといふが如きもので朝鮮のそれは素々水面よりも低き地面に海水の浸入を防止するため堤防を築き風車を使つて人爲的に襲水を豫防してゐた處、はしなくも襲來した洪水のため堤防の一部が決潰する同時に周圍に機會を狙つてゐた海水塊が一時に出沒して懷山襄陵の勢で全面を海水化せんとするものに似てゐる。然り朝鮮の思想的堤防が決潰せるは已に久しい如何なる力を以てしても之を防ぎ得るものは今となつては皆無であらう。●

3、××××××××××

×、××××××××××××××××××××××××。××××××××××××××××××××××××××××××××××××××。即ち日本の當局者が社會主義を蛇蝎以上に憎惡するも彼等にとつてはむしろ無理もない事實であらう。×、××。××××××××××××××××××××××××××××××××××××、××。××。けれども朝鮮に於ては×××××××××××××××××××××××老者級の頭腦には其の巢を弁つてゐる儒教的倫理觀念の殘存せるを除いては××××××××××××××××××××××××××××××××。之が朝鮮社會運動が比較的短期間に急速なる發展を遂げた條件の一つである。

4、被搾取の程度が異る

前說せるが如く日本に始めて社會主義的思想が輸入された時代は其の國内に於ける資本主義が漸く形成されつゝあつた時代であつたゝめ彼等の生產力の發展を容納するに未だ餘裕があつた從つて階級的對立も左程に露顯しなかつた。而して彼等の背後には連いて戰勝の恩澤を蒙り其の經濟的勢力を海外に伸張し過剩人口を續々と移植する同時に植民地の搾取に手を着けて彼等は殆んど全國民的に之を搾取する暇なく斯る經濟的事實は其の國自體内に於てもそれに相當する階級的衝突を緩和する原因を作り、從つて社會主義的思想の傳播にもそれ相當の障碍と遲緩を來した。

しかれども朝鮮に於ては之に反し、日本の如く資本主義的大發展を意味する近代的大工業の勃興は見ないけれども、××××××××××××××××××××××××××、彼等の貧弱なる生產はその生活を支持する餘裕さへないほど×××××××××××××××××××××××××××××××××××××××、×××××××××××××××××××××××××、×××、××××××××××××××××××××××××××。換言すれば日本無產階級は其の經濟的生活が朝鮮のそれに比較して割合に寛裕であつたゝめその階級的意識の喚起にありても相當の遲緩をみた。朝鮮無產階級がその經濟的生活の事情を異にしたといふことはとりもなほさず階級的意識を急速に進轉せしめた主なる條件である。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

5、民族的立場が異る。

更に觀察の方向を變へて民族的立場よりみれば日本民族は戰爭の常勝者で軍國主義的精神が彼等の頭腦に深く潜入してゐる點、他民族の統治的立場にあり常に之を侮視し自己の優越意識を感じてゐる點、極東に於て獲得せる盟主的地位を保持せんと絶へず努力する點、白色人種の東占に對し常に國民的に脅威を感ずる點――斯の如き諸々の事實は一面に於て彼等の偏頗輕薄なる島國根性より來る國民的虛榮心並びにその一致性を助長する同時に、他面に於て彼等の數千年來武士的政治の下に支配されて來た奴隷的從順性を保有せんがため日本無産大衆は自己の經濟的破滅に忍從してまで幾分國民的の一致性を亡却せず其の支配階級のゴマカシ政策に盲從して、全大衆の階級意識の發達を耗鈍させる嫌が尠くない。

しかしながら朝鮮に於ては、元々民族的に非常に不幸なる厄運に際會し、政治的に他民族の統治を受けると同時に總ゆる壓迫と屈辱を殆んど受け通して來た。斯る境遇にある××××××××××××××××××××××××××××××××××、××××××××××××××××××××××××××××××××××、××。

三　日本運動より發達に不利な條件

以上數ケ條の原因を列擧して朝鮮社會運動の日本のそれと比較してその急速なる發展性を詳かにした。しかしながら朝鮮に於ける社會運動は總べてがその發達のために有利なる條件を具有するかと云へば決して然りとは云へない。即ち朝鮮社會運動の發達が日本のそれよりもむしろ不利なる點を有する點が多い。いまその主要點を下に論記するであらう。

1、教育程度が異る。

日本に於ては義務教育が實行されて久しい故を以て日本國民の大多數は文字に依つて自己の意見を發表しまた他人のそれを採取し得る能力を有するばかりでなく文盲階級にしては到底理解することの出來ない學說若しくは主義に關する諸說も多少之を咀嚼し、消化して、それに對する批判的觀念を把握する程度にある故、日本無產階級は社會主義的思想に對しても之を理解するに充分なる力を有してゐるものと見ることが可能である。××、××××××××××××、××××××××××××××××××××××××××××××××××。從つて日本に於ては已に社會主義學者としても幾多の人物が出現し、工場の勞働者若しくは農村の農民中にも理論に徹底した無數な鬪士を發見することが出來その宣傳方法にありても一度この思想に浸潤された者は容易に褪色せざる健全な分子を作る程巧みである。之を現今朝鮮の社會運動界の未だ代表的理論の指導者が一人もない貧弱な現狀に對照し、また朝鮮農村に於ける文盲階級が社會主義を初耳にしてそれを「盜賊の道」と罵倒したる事實に比較して論ずる餘地のない狀態であ比較して實に比較して論ずる餘地のない狀態である。×××××××××××××××××××××××××××××××××××××。×××××××××××××××××××××××××××××××××、××××××××××××××、××××××××××××××××××××××××××××××××××之は運動指導者の先づ以て着眼せねばならぬ要點である。

2、反動政策が相違する。

我等は社會運動に對する當局の取締態度が日本と朝鮮とに自ら顯著なる相違點があることを認めなければならぬ。即ち日本に於てはそれが勿論嚴重でないといふ譯ではないが、比較的日本の社會運動は言論、出版、集會の自由が、ある程度までは認定されて居り罷業若しくは示威運動の如きに對しても取締が幾分か寛大である。他に個人の研究若しくは學者の論究は限りなくむしろ不自由なき程度に講究しつゝある狀態であると云つて差支ない。けれども朝鮮にありては、一から十までが悉く（以下五十行抹殺）

我等は以上に依り過去の發達に於て朝鮮社會運動が日本のそれに比して遙か有利なる點を有し隨つて不利なる點も多くあつたことが窺明された。我等は斯る有利なる點より不利なる諸點を控除してもなほその殘高が綽々と餘裕ある發展を支持せしめるに充分であることを斷言する。

四　結論

然らば斯る有利なる條件は、今後の朝鮮社會運動に於ても保有し得るであらうか？これに就ては悲しいながら首肯を赦されない。勿論朝鮮社會の階級的分解作用は今後なほ盛行され、中產階級は彼等の今日まで保存し來る若干の財產と地位を悉く喪失して下層無產階級に絕へず歸落される狀態にあれば（都市、若くは鄕村を勿論、彼等の口より發する「日每に變る」「このまゝでは活きてゐられぬ」といふ歎息の聲は何よりも彼等の經濟的沒落を如實に告白するものである）朝鮮の無產階級がその全量的に見ては益々增大して行く可能性があるのは事實であるが過去の社會運動をして斯くも急速なる發達を遂行せしめた數個の條件にはもう已に時間的にその效果價値を消滅したものもあれば、當局者の反動政策が益々辛辣であることを豫想すれば、今後の一定期間はその運動が表面に顯はれるほどの量的增大は到底期し難いものである。しかれども運動が如斯に遲々たる形成を取りつゝ進行する中には已に質的に非常なる淨洗と鍛鍊を積み過去に跋扈したる不精分子は次第に影を秘め、その代りに理論と意識が共に健實なる新進人物が運動の中樞的勢力を興すに至るであらう。玆に於て始めて朝鮮に於ける社會運動は新機運を釀製するであらう。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

似而非學者の面の皮を剝いで御覽に入れる

向軍治

昔第一高等學校の入學試驗に歷史上有名な人の名前を十個掲げて其の人物を說明せよと云ふ問題を出した事がある。受驗生の中に妙な答案を出した者が一人居た。其答は例へば「ウルバンはローマ法王にして又フランス王なりとも謂ふホーマーはイタリヤ人にして又ギリシヤ人なりとも謂ふ」の類で十人盡く見當違の答の上に「又何々なりとも謂ふ」と云ふ見當違の備考が加へてあつた。餘り變なので評判になつて一高の教授が代る代る其學生の顏付を見に行つた事がある。「こんな變な事を何んな顏付をして書くのだらう」と云ふのが試驗掛の訝がる問題であつた。額田君の「進め記者への御答」を讀んで額田君が何んな顏付をして彼んな間の抜けた言を並べたのだらうと云ふ質問が胸に浮んで來た。

文部省が國語教授の方針を誤つて以來我國の文章は全く亂れて了つて殆ど手の着け樣のない程度に達した。自國語すら知らない男に外國語が出來る譯がない。言葉は思想を傳へる媒介物である。言葉の研究を怠つてゐる結果思想まで混沌として了つたと云ふのが今日の我國の學者の通弊である。文學者と云ふのに本當の文章の書ける人は殆ど無くなつた。此節「日本兒童文庫」とか「小學生全集」とか子供の讀物が種々出版になる。其の廣告を見て惡文なのに驚いた。出版を監督する文學者と云ふのが丸で文章の書けない男である。其の出版物が天下に害毒を流すことを火を睹るよりも明である。現に小學四年生が「先生、お父さんに新しい出版書を買つて貰ひましたが變な文章ですよ」と謂つてゐた。其兒童に其の學校の教課書を讀ませて訂正を加へて何ちらが善いか考へさせたら「矢張先生の御直しになつた方が宜しうございます。文部省は何ぜこんな惡い本を出すのでせうね」と謂つてゐた。文部省の編輯掛の文學博士が文章を知らない事の確證である。

以上の文を讀んだ丈で讀者は大抵額田君の反駁に對する答としては生温いと感ぜられるであらう。次に揭げる手紙を讀まれたら猶更緣の遠い話と思はれるに違ない。併し額田君の返事の樣なあんな不得要領な言葉を對手にして議論して見た處で讀者諸君に大して利益は與へられない。それよりも今の教育が如何に間違つたものか謂ゆる學者と云ふのがどの位テンプラ式であるかを證明するために玆に左の手紙を紹介する。本庄と云ふ方は丸で知らない人どの位の程度の無學な男が高等學校や大學の教授杯と意張つて、國民の膏血を絞つた金で留學杯してゐるか文部省の國民の信賴に負く罪がどの位大いなものであるかを此機會に證明して見せる事はあらゆる方面に於て社會改良の必要を感じてゐられる讀者諸君に取つて決して無益な事でないと思ふ。

私は大阪高等學校のドイツ語の教師で目下ドイツに在留中の者です。過日大阪朝日の一日一文欄に書かれたあなたの文を讀みました。當時一年級のドイツ語を擔任して居た者の一人として、私は御尋ねしたいことがあります。

あの文の中に「大阪高等學校一昨年第一年級のドイツ語の教科書は間違だらけなのを教師も知らないで、そのまゝ教へてゐた」と云ふ一節があるが、あれは何を根據として斷定されたものです。

その年に一年級四組で使つた教科書は十種近くもあらうと思ふが、それ等の大部分は内地編纂のもので、それらに限らず一體内地編纂のドイツ語教科書は間違が多いと云ふ事は私達はよくよく知りぬいて居り、又よく話し合つてることです。然るにもかゝわらず何を根據としてあなたはあゝ云ふことを斷定されたのです。あなたは言はれるかも知れない「或生徒に聞いた」と。しかしそれは甚だ危い論據です。それにはどんな間違があるかも

安部磯雄氏に依る無産階級運動の目標

吉田源藏

無産階級運動の重要なる一方面に、政治運動のある事は今更喋々を要しないところである。そして此のプロレタリアー政治運動を指導鞭撻せられつゝある幾多の名士大家のある事も今更喋々を要しないところである。そしてこれ等諸名士、諸大家の中に元早稻田大學教授、安部磯雄先生の在はす事も世間周知の事である。そして安部磯雄先生は無産階級運動の重要なる一方面の役割を演ず可き任務を持つて居る無産階級の政黨、社會民衆黨の黨首である事も世間周知の事である。そして安部磯雄先生を黨首に持つところの、無産階級の政黨社會民衆黨の宣言、綱領が、無産階級運動の重要なる一方面の任務を果すに充分なる主張を持つて居る事も吾等は認めて居る。それは社會民衆黨が、其の指導精神を社會主義に置いて居るからであり、黨首安部磯雄先生が過去三十數年來吾等の尊敬して來た社會主義者であるからである。

ところが、最近此の吾等の敬慕措く能はざる安部磯雄先生を黨首に戴く、無産階級の政黨社會民衆黨が、ブルジョアー政黨だの、自由主義者の寄り集りだの、既成政黨の分家だのと批難せられて居るのはどうした事であらうか。私は其の理由を、一部の人達が云ふような、安部磯雄先生が無産黨入りをするに際して、教授の代りに講師として大學に片足を止めたり、其のグループに吉野氏や、堀江氏等の自由主義者が居る事に依るような、單純な理由に基くもので

知れません。あゝいふ斷定は當の敎師その人にその敎科書に就いて問ひただした上でなければ出來ない筈です。殊に人の名譽に關する重大な問題に於ては尙更そうすべきです。あなたはさういふことをされたか如何です。それから間違といつてもいろ／＼の種類がある。誤植、脫漏內容其ものの間違、文章構成上の間違、個々の言葉の使用上の間違等。あなたは國語問題に關聯して論じて居られる點から考へると、前二者のような比較的に小さい間違でなく、後三者のような比較的重大な間違のことを言つて居られるものと思はれるが、しからばそれ等の間違で、しかも敎師も知らなかつたといふ事實を一々指摘していただきたい。右私にまで御回答を願ひます。

大正十五年十二月一日　本庄實

向軍治樣

二伸、尙あなたは「昨年校長に注意して置いたから最早改めただらう」と言つて居られるが、私も同僚も（私は今年四月まで同校に居りました）そんな話は校長から一言半句も聞いて居らず、一日一文欄で初めて承知した次第です。それから敎科書の選擇に就いては從來、校長より干渉指圖を受けたことなく、私達の自由に任せられてあり、ましてや局外者からの干渉や注意によつて動かされるものでないことを申し上げて置きます。

孔子が敎へてゐられる「人の患は好んで人の師となるにあり」と。低能が敎師になれば生徒は皆低能仕込と云ふ看板付になる。

「一體內地編纂のドイツ語敎科書は間違が多いといふことは私達はよく／＼知りぬいて居り又よく話し合つてることです。然るにも拘らず何を根據としてあなたはあゝいふことを斷定されたのです」。

右の文句で此手紙の書手が如何に卑屈な人間であるかゞ判る。「然るにも拘らず」とは一體何に拘らないのだ。話し合つて居る事に拘らないと云ふ意味であるか。話し合つて居た丈では問題にならない。話し合ひはしたが結局間違の多い本を採用したと云ふ事もあるだらう。話し合つたのだから採用しなかつたのだ、早合點しろと云ふ意味であるか。發信者の腹の底を探ぐると「話し合つた」と「然るにも」との間に「從て私達は間違のない本を選んだのです」と挿みたかつたのであるが萬一向から此間違はどうしたと問詰められた時困るからと云ふので「間違のない本」と云ふ主張は拔にして置いたのである。卑屈な奴である。それでなければ「然るにも拘らず」と言續けられる譯がない。向を對手にして喧嘩したい位の男なら先づ向は此位な事は樂に看破して對手の腹の底を抉る男だと云ふことを心得て置け。間拔め。彼の一句を拔かした處でどの道逃れられる筋道ではない。若し彼の一句を拔かしたのでないとなら片言即ち辻褄のあはない事を謂ふ人即ち低能である。

「あなたは言はれるかも知れない（或生徒に聞いた）と。しかしそれは甚危い論據です。それにはどんな間違があるかも知れません。」

とは一體何たる讒言だ。高等學校の寄宿舍の食堂で食卓の上に雜巾バケツへ御飯を入れて出してあつたと假定して御覽。大抵の學生が怒るに違ない。亡國敎育殺人敎育を平氣でやる學校丈あつて不衞生極まる失敬千萬な賄振をする。丸で毒を喰はせるのだと謂ふに違ない。處が本庄先生曰く「それはいけない。果して不潔か不衞生が先づ賄方に就て問糺した上でなければそんな斷定が出來る筈のものではない」と。雜巾バケツの中に衞生的な食物が盛つてある譯がない。（高校の食堂と斷つて置いたのは兵營では雜巾バケツで汁を運ぶと云ふ話を聞いて居るからである。）敎科書全體が片言の獨逸語丈知つてゐる人の書いたものであることが判然してゐる以上其中味を一々詮議して見る必用のないことは無論である。間違にも程があるが大阪高等學校の敎科書と云ふのは話にならない程甚しい惡文獨逸文範であつた。一寸讀んで見れば間違がないかと詮議する必用も何もない惡本であつた。あんな本を敎科書に選定した男は無論獨逸語を知らない男である。帝大の敎授に獨逸語の出來る人は居ない。其敎授に習つた學士杯に獨逸語が出來て堪るものか。外國語學校出身は更に駄目だ。尤も大阪高校の敎科書に關しては其本で敎へられた學生に尋ねて見たのである。「此んな間違だらけの本を先生は訂正して敎へたかね」と。「イ、エ此儘を敎へられました」と云ふ返事をしたのは本庄氏の樣な不

はないと考へて居る。そうして私の此の考へ方は、最近安部磯雄先生の『無產階級運動の目標』と云ふ講演を聽いて、一層強ふすることになつた。即ち安部磯雄先生に依れば、

『……從來は貧乏のどん底に呻吟して居つても、其の人達は多くは無學な人達ばかりであつた、そして失業をするような事があつても、只世の中が不景氣になつたからだと斷念めて居る人達ばかりであつた。ところが此頃は高等な學問をした人達、即ち智識階級の人達が多數に失業をするようになつた、此の人達は學問のある人達だから、世の中が不景氣になるところの眞實の理屈がよく分る、そこで此の人達は危險な思想を抱くようになる、此の人達は、其の危險思想を自分達だけが持つて居ずに多くの無智な人達……只斷念めて居る人達……の中に這入つて行つて、危險思想……世の中に貧乏人と金持が出來て居る理屈やら、世の中が不景氣になる眞實の理由……を宣傳する。そこで危險思想が一般に普及する、それこそ大變だ、だから早く今の内に何とか方法を講じて、此の中の病氣を、治さねばならない、それには各自が持つて居る貴い一票を社會民衆黨から出る代議士候補者に投じて、議會に議員を送り、法律をどん／＼拵へて大金持や、大地主等を除々に小さくして行かねばならぬ。それから仕事がなくて困つて居る失業者に對しては、それ等の人達が危險思想を抱く迄に、適當な仕事を與へるようにせねばならぬ……』と、そして安部磯雄先生に依れば、大金持や、大地主を無くするやうにするには、三代目位……約百五十年程かゝつて相續稅を課して社會の貧乏病を治し、失業者に、職業を與へるには、青森、下關間、及び其の他の主

其要領な文章を書かない學生であつた。其學生は余が教へた事があるので優秀な學生であることを善く知つてゐる。本庄氏はどんな方か知らない。御手紙に依ると頭の働は本庄氏より其學生の方が遙に上である。先生よりエライ學生が謂つた言だから余は益々其學生の言に信頼せざるを得ない。

人の師となる者は常に研究を怠つてはならない。此事は孔子もソクラテスもくどい程教へて居る。本庄氏は其の手紙の総の文句で人の師となる資格のない人であることを證明して居られる「局外者からの干渉や注意によつて動かされるものでないことを申し上げて置きます」は阿房でなくては言へない言葉である。

「故人・不在の人の事は善く言ふか否よらざれば何も言ふな」と云ふのが古來の教である。併し事理を明にするために某文學者の事を述べて置きたい。其文學者の惡口を謂ふのが目的ではない。如何に現代の人に文章の力が無いかを證明して置きたいのである。數年前に有名な文學者某氏が死際に朝日新聞に小説を載せた事がある。其人の思想には面白い處があつたかも知れない。其の著述を少し讀んで見た丈だから何とも謂へない。文章は下手クソであつた。或日ローマ字雑誌校正の時傍に居た鳥谷部陽太郎君が余に向つて、「此小説は、、氏の傑作です、讀んで御覧なさい」と謂はれた。余は言下に「あんな下手な文章を書く男の書いた物は讀まない」と撥付けた。鳥谷部君が是非讀めと迫る。そこで條件を付けた。「僕が讀んで惡い處へ鉛筆で印を付ける。其處を君が訂正すれば讀まう」。鳥谷部君承知した。早速讀んで文章の惡い處へ印を付けた。七月十六日の新聞であつたと思ふ。少くも十個位惡い處があつた。鳥谷部君一つも訂正し得ない。そこで余が筆を入れたら鳥谷部君一々感服した。鳥谷部君は伯父君が有名な文章家であつた丈あつて現代に珍らしい文章家である。すると其年の末に新年號校正の時鳥谷部君が復其文士の作を余に讀ませた。余が三行讀んで「駄目だ」と謂つたら鳥谷部君驚いた。「只三行計り讀んで駄目とは何うしたのです」と謂ふ。「三行目に下手なことを書く男は五行目にも七行目にも下手なことを書く。此上讀む必用はない」と謂ふと鳥谷部君承知しない。そこで十行計り最初の文句を訂正して聽かせたら「矢張り先生の文句が善う御座います」と云ふのが鳥谷部君の返事であつた。日本一の文學者と云ふのがそんなに文章の下手なものであることを現代の人は丸で知らない。文士の下手な童話を面白がつたり發音の法を知らない從て之を教へることの出來ない東京音樂學校で教へた音樂家即ち發音の法を知らない淺學者の滑稽な歌を有難がつたりする低級な社會は皆無學な文部省が養成したのである。天下擧つて惡文を書く中に法律學者三淵忠彦君の如き文章家のあることも紹介して置きたい。三淵君は仙臺高等學校在學中から文章家であつた。余が昨年著した「國を亡ぼす教育」を進呈した時三淵君が禮狀を寄せられたのが左の通である。福田君杯には碌に讀めないだらう。

拜啓昨日は久振にて御目にかゝり仕合に存申候いつもながら御壯健に被爲在奉賀上候昨日は御高著御惠贈の榮に與り御厚志難有謝上候歸宅後早速拜讀を始め候處非常に面白く一氣に讀了仕候快刀利刄を揮つて縱横に斬りまくられたるところ云はん方なく痛快にてパーマの徒は殆ど顔色なかるべくと存ぜられ候理路の整然にして筆鋒の犀利なる向ふところ敵なかるべく淺薄なる英米人の如きは全く鎧袖一觸の感有之候向先生未老矣の歎を深く致申候恰も伏波將軍の馬上に顧盻するの慨有之先生の御氣魄の旺なるに依りて壯なるに敬服仕候先は右御禮迄申上度如此御座候

匆々頓首

十一月四日　三淵忠彦拜

向先生玉案下

三淵君が此文章力を養成し得たのが學校教育の御蔭でないことは此手紙の用語の數々で明瞭である。

以上旅行の前夜、走り書きに書きました。福田君は多分「進めの讀者にはどうせ文字の讀める人は居ない。善い加減のホヲを並べて置けばエラ相に見える」と云ふ態度であんなアホラシイことを書いたのでせう。どんな顔付で書いたのか見られないのが殘念です、經學者の泰斗と云ふ君の名を掲げてよくも恥かしくないことです來月號に手玉に取つて御覧に入れます。（七月三日）

要道路をコンクリートにするような工事を起して、それ等によつて仕事を與へるのであるさうだ。そして安部磯雄先生に依れば前者が社會病の根本療治であり、後者が應急手當であるのださうだ。そして安部磯雄先生に依れば、其の根本療治も、應急手當も、共に貴い一票を社會民衆黨から出馬する議員候補者に投じて、議會に送り出せば極めて樂に出來るのであるさうである。

安部磯雄先生の『無産階級運動の目標』なる御講演を、以上の如く拜聽したのが、若し聽き違へでなかつたなれば、安部磯雄先生等に依つて爲される無産階級政治運動とは、今迄貧乏を只單に世の中の不景氣な爲めだと斷念めて居た無智な人達が、貧乏の原因やら、そして貧乏を無くする方法やら、世の中が不景氣になる眞實の理屈やらを、智識のある人達から教へられたり、してこれ等理屈を實際にやらうと云ふような思想……所謂危險思想……を豫防する爲めに、貴い各自の一票を投じて代議士を議會に送る事であるらしい。

吾等は安部磯雄先生に依つて、無産階級運動を斯く教へられてゐる。然しながら他の方面に於て、所謂危險思想の運動を無産階級政治運動に依つて、それの決勝點に導くような無産階級運動をも教へられて居る。ところで私は、安部磯雄先生の無産階級運動と、他の先驅に教へられた無産階級運動と、何れの旗下に馳せ參じるのが吾等を解放する道であるかを決定する事は此處では遠慮する。私は今は只危險思想の起る事を心配せられて、『それこそ大變』だとの信念を以つて、無産階級運動の矢面に起つて居られる安部磯雄先生に對し反つて他の方面から『それこそ大變だ』と云ふ聲が起つて居る事を摘記するだけに止めて擱筆する。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

全士戰報

無産青年の使命

俺達無産青年の使命は、全無産階級××××××××××××××××、×××××××××××。

現下の支配階級の暴壓は益々強く俺達に肉迫し來る。然し俺達は斷じて屈しない、如何なる彈壓に對しても、××××××××××××、初めて俺達の世界が來るのだ。

資本主義の産物たる、軍國主義は一般無産階級意識を、阻止し、攪亂する事に依つて、その精神とし、目的としてゐる。また無産階級の、闘爭精神を抹殺し、資本階級の擁護を司つてゐる、と云ふ事も出來る。何故ならば、所謂軍國精神に依つて無産階級に屈從の精神を教育し、たに依つて凡ゆる現存秩序に對する盲目的な屈從の習慣を與へ、然して無産階級の、經濟的、政治的の闘爭に於ても常に、資本家の支配下に屈從することを、教へてゐるからである斯樣な下に現存する、軍國主義は、思想上精神上にも、無産階級の解放戰線を甚しく阻害するものである。

斯る下に現存する、資本主義が、その沒落期に於ける、×××××を見よ。青年訓練所然り、彼の青訓は、目覺んとする無産青年をして、××××××××、××××××××××××××××。

俺達は××××××××××絶對に排斥せねばならぬ。

全無産青年は、反青訓運動を起せ、×××然して資本主義副産物たる、×××××××。

軍閥田中内閣×××××××××××××××。【大阪 中井市松】

争議第一報

此頃新しく生れる法案は總て資本家の爲めに作られる事は知れ切つて居るが、就中健康保險法はそのカラクリが最も甘く搾取手段として施行された。報酬の薄き勞働者が毎月一圓内外の賃金の一部を搾取されながらいざ病氣の時、その治療を求めた時その快療期日が長引く場合は、荒療治を施して全治と欺瞞して放り出されて終ふ。最近吾大牟田市に於いて實に慘酷極まる事實が續々曝露されてた。今や吾々は必要となつてそれに對抗して居る。それは當市にある三井、三池鑛業會社の非人道的行爲である。多くの當會社從業員が一度病者となるや忽ち保險醫の荒療治を以つて全治せりと瞞着し、片端からそれ等從業員を鼻糞程の手當で馘首する。そうした人達は毎日四五十人を下らず。勿驚、今や其數は六七百人に達して居る。吾等は遂に見かねて、三井鑛業所に至りその非を難ずるに、彼等は頑として聞かず。剰へ自ら我利々々主義と薄情主義とを表明する言語を以つて吾等を恥辱し、僞瞞せんとせり。茲に於いて吾等は正式に十二ケ條の要求書を提出す。然れども勿論それは立ちどころに拒絶され、遂に四百餘人は直に團結して争議に移つたり。而して現業勞働者も今は同情罷業に出で茲に全く持久戰となる。幸、争議團は兵糧豐富にして日々同情による贈物は山をなし如何なる長日月たりとも完全に戰ひ得る意氣と力を持つて居る、團員は惡戰苦闘を續けつゝも何等疲勞の色もなく、秩序整然として益々その勢旺盛にして必勝を期しつゝあり。因に要求條項の大要は次の如くである。

一、健康保險法の改善。
一、共濟會撤廢。
一、購買組合を舊に復する事。
一、坑内に醫師を入れる事。
一、男子採炭賃金を三圓、女子二圓八十錢と定むる事。

全國の同志諸君！
願はくば聲援せられよ！

【大牟田 小松道俊】

憎むべき校長

俺等の町の青年團當事者は、彼の民衆をして軍國主義化さうとした訓練所なるものが開設されしに氣が付いてか、本年の入所期より適齡者以外即ち一般青年迄も全部入所せしめて（勿論教室は違ふが）從屬的精神乃至資本主義的精神をつめ込まんと奸策をめぐらしたのである。所が豈圖らんや、我級の教師たるや年未だ若き前途有望なる青年教師で、俺等と思想を同じうせる同志たる事が日を經るに從つて現れ來て俺の喜び到底筆紙に書く能はざる所であつた。斯くして二ケ月餘の間得る所多く思想的指導を受け來たりしに突然、四月初旬職を退かれしを聞き俺の悲み一方ならず。入所時の喜に反して如何、諸君！察してくれ給へ、實に暗涙を禁じ得なかつたのである。

所が、此の悲みも月餘を經過したる日、當訓練所主事の言語に絕し

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

た行動に憤慨せざるを得ぬ事件が突發したのである。それは前、青年教師が辭職されしとは全然僞りで、當主事が馘首したのである。乍然その教師は早大出身の活氣潑剌たる前途有望なる士であつて、小學教師如きに踏み止まつてゐる樣な人でないのだが、去る三月末學務當局より他の某小學校長に榮轉の辭令が下つたのである。所が其辭令を當所主事（校長）が握つてその教師に對して辭令に復すか否かを質した所その教師は次の如く「未だそんな思想の開發されてゐない田舍へは、我意でない」と一蹴されたのである。實に意志の强健人格の偉大なる事よ！　賞歎せざるを得ない所ではないか！　然るにその非人道なる校長は直にその青年教師を馘首したのである。其理由は彼の青年教師は左傾に偏してゐるから從て青年に危險思想を吹き込むからと云ふのみに過ぎないのである。なんと惡辣專斷極まる奴ではないか吾等は如何にしても斯る非人道的行爲を默認して居る事は出來ないのである。故に吾等同志は相寄り結束して彼の非人道なる主事に對して猛烈なる抗議を申込むと同時に、俺等の恩師たる青年教師を飽く迄支持し、××××××××××××××××××××××。願くば全國の同志諸君奮つて援助を乞ふ。

擱筆するに際して×××××××××青年諸君よ！　斯る問題は度々ある事だからよく其の眞相を究明し斯如き××××××××××。

【大阪　三木田好美】

四國の水平運動

香川縣下に於ける水平運動は今や正に混亂狀態に陷入らんとして居る。

水平社香川縣聯合會長高丸義男と云へる者は此の頃何を感じたか、墮落幹部共と共謀して縣下に於ける純粹なる水平運動を起すのだと云つてゐる。此處に奇怪なのは其運動に連なる主腦者や其背景である所の黑幕である。

吾人は此處に其を暴露せんとするのである。同志諸君よ、彼等は云ふ新運動なるものは縣知事を會長となし淵崎村の資產家反動主義者の頭目たる井上文平なる者を背景として居るのである。

諸兄よ、現在迄香川縣下に於ける水平社同人は農民組合と相互に提携して地主に對しては常に協同戰線を張り行動を共にして來た。然るに此の度ダラ幹高丸義男×××××××××ブルジョアを背景とし、反動主義者の張本人であり、走狗者と云ふべき政友會知事を會長となす新運動こそ、是れ明かに、全無產大衆に對する裏切運動である。

彼れ高丸は自己の非を隱蔽し、其運動を糊塗せんが爲に、現在の水平運動及其他の社會運動を中傷讒誣し其一方買收されし代價に報ひんが爲に反動裏切の新運動を起さんとして居るのである。我等は斯の如き言語道斷にして非人道なる奴等には何等の躊躇する所なく斷然として徹底的に排擊せなければならぬ。其れ、無產政黨の假面をカブれる日本農民黨を大衆が排擊して居る如く。時は今だ。

左に參考の爲、大每四國版の一文を此處に記す。

近く分裂か水平社香川縣聯合會

高丸氏の新運動

水平社香川縣聯合會では政黨問題で分解作用を起し執行委員長高丸義男氏等幹部が小豆郡淵崎村の資產家井上文平氏等の後援を得て香川縣下を一團とした團體を組織し、知事を會長とし、香川縣獨自の純粹水平運動を起そうとて目下地盤をかためつゝあるが勞働農民黨支持の幹部は是に憤慨して墮落幹部の一掃と勞働農民黨支持を申合せ活動を開始したので近く分裂する模樣である。云々。

【香川縣　湯川國雄】

無產青年に檄す

吾等は去る四月十二日、長野縣に於いて全同志相結合して、勞農青年同盟を組織した。以來、長野縣は全く本同盟の旗下にある。而して今や全國至る處より續々その協力者あるに鑑み、玆に全勞農青年同盟を組織せんとす。全國に擴がる進めの同志諸君は速に吾等と協力せよ！　因に勞農青年同盟の宣言、綱領は次の如くである。

勞農青年同盟宣言

親愛なる青年諸君よ！

吾等は常に神聖な生產の勞働に從事してゐる。然し我等同胞は三千年來高鳴り躍る熱血を抑へ壓せられ徒らに因襲に捕はれ無智な自制や、横暴なる經濟的、社會的强制を强ひられ、何等の光明も認め得ず常に不安と苦痛の中に生きて來た若き青年諸君！　時は來た!!

多年鬱積せる資本主義制度の不合理、弊害矛盾の極端なあの曝露を見よ！

吾等が正によつて生を求めるに對し、あの非人道な横暴振りを見よ！

旣成政黨の沒落期に入れる今日、多くの期待と抱負とを負つて新に生れし無產政黨は互に醜惡な爭を續けつゝある。あの慘たる光景を見よ！　斯くの如く怒濤逆卷く太洋を吾々青年は如何なる進路を發見し進むべきか？　それは社會の中堅をなす吾々青年の研究し、解決し突進するは最大急務であり又重大任務である。

我々人間の生存に對し、脅威を與××××××、又するものは×××××××ある。亦吾等が進軍の共同戰を我利〳〵なる盲論によつて亂す者は人類幸福××××××××××××××××××。それは吾等の同志でもなく、朋黨でもない。吾等の敵は人間のすべてを、利權の二字に依て支配せんとするすべてのものである。起て青年大衆！　吾等は自ら起つて鬪はねばならぬ。理論より實行を主とせよ。

諸君の鄕土には鄕土獨特の何物かがある筈だ。今こそ諸君はそれを自ら發見し、自ら解決せんが爲め實際的行動に出づべき時である。

自治制による一大同盟！

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

それは現代青年大衆の進むべきとるべき方向であり、唯一の光明である。

吾等は何時迄も暗夜にさ迷ふ秋ではない。

發見せられし光明に向つて驀進すべき秋である。青年大衆團結の聲は叫ばれた。

警鐘は亂打されて居る。

團結々々、××××××青年大衆の奮起の秋が來たのだ。

彼の相噛む猛獸は共稱族減少し、又共倒れす。相扶くる群居鳥獸は繁殖す、人間界亦然りである。爭ふものは滅び、和するものは榮ゆ。これ絶對の眞理である。右傾も左傾もあるものか、人類生存の最大理想は相互扶助による共働共榮の社會である感情や利害や空論の爲めの鬪爭は人類生存には絶對に不必要だ。

「來れ――集れ――人類を愛し」「郷土を愛す」「人類最大幸福の要求者」

綱　領

一、吾等が理想

吾等は社會に棲む人間である。社會とは人間の共同生活を營む處である。故に吾等は相互扶助の精神に基き、共働共榮の社會建設を期す。

二、吾等が主義

吾等は社會進化に伴ひ、科學的見地に基礎を置き、感情や利害や空論の爲めの鬪爭を排し現實に卽して全人類の最大幸福獲得の爲めに努む。

三、吾等が主張

吾等は人類共存の爲め、一致團結して、先づ理論より實行を主とす。

四、吾等が行動

吾等は人間生活に對する總ゆる脅威搾取害毒の撲滅を期してすべてを行動す。

五、吾等は何れの無産政黨（既成政黨は勿論）へも加入せず。

全國の無産青年諸君！　今や、資本主義の最後の發展段階にある我が日本の無産青年は、來りて我等が青年同盟に集れ！　入會は極めて簡單自由である。無産青年は、團結の力に依つて戰へ！　全國の青年プロレタリアは本同盟の旗下に參集せよ！

【長野縣妻科町一五九　勞農青年同盟】

假面粉々

爪を隱す猫の毛は深い。覆面頭巾は泥棒達の唯一の防衛具だ。お隣りへ化け込むには是非入用な品だ。乘るか！　外れるか！　のきわどい賭を擲つ冒險な芝居になれば益々頭巾が必要だ。だから行詰つた彼等は品を替へ、手を選び、新しいお道具を持つて接近して來る。

政治に、教育に、總て社會は此の外見美しい道具を使用して民衆を招き寄せる。正體を知らない民衆は、言はれる通り、脅かさる儘に誤魔化されて殘らずフンダクられる。正體を包む此の道具の餘りの出來榮に眼がくれて泥棒を讚美することになるこれが卽ち世に謂う「道德」なるものである。卽ち善人とは此の道德で固まつた社會に何等の疑義も起さず不平も持たず、意久地無くも眠つてゐる人樣のことだ。シビレた眼には絶對に正體を見拔く事は出來ない。だから骨と皮とになつても否飢死しても此の社會を謳歌し辯護する。××××××。奴隷たらんとする。冠つたカツラの外見美を眞に受けて狂奔する。仲間入りがしたくなる。

藝術と云ふ大カツラを冠つた人達に引ずられて、舞踊することになるのもその一つだ。自らも冠つて見度いと云ふ野心が起る。此の方面にあつては殊更に野心が他より烈しいのである。

そこに奴等の手はあるのだ。

【高知縣　佐根泰郎】

戰端は開かれた

私は毎號本誌を受取るや卽時に此欄を見る。そして同志各地の奮鬪や如何と私は此欄に於いて各地同志が互にその戰報を記載し、何物かを得る事に努めて居る。で同志諸兄姉は是非此誌上に、ドシ〱戰報を載せられん事を希望します。就いては先づ、當地の戰報の一部を記します。

去る大正十一年組織された日本青年思想研究會は其後各地の農、勞、水其他組合青年の加盟によつて、團結の偉大なる力を視る事が出來た。本部所在地赤磐郡高陽村の青年團（官製青年團）は私達の同志と化し、部長組織に改め、部長は會員に依りなされ、プロカルトの使命を完全に果しつゝある。此の時、去る二十日第六回大會を開催し、縣下各所に散在せる支部に於ける青年團（官製）を引入る可く大會議案の一端に「進め讀者倍加運動の件」を滿場一致可決し、以つてその實行に着々成巧しつゝある。近くブルジョア青年、詩的青年、反動青年等との大爭鬪が、大波亂が起るであらう。然し、正義の前には何物もないのだ。各地の同志諸君、出來る限り後援を乞ふ。

【岡山縣　友實孫四郎】

熱を出せ！

社會は益々進化し、諸般に現れて來た！　殊に今日の如き急激な社會に於て若い人々の活躍を希望して止まない。

親愛なる青年諸君、彼の無産階級を指標として立てる無産政黨や、既成政黨の限界は甚だ曖昧である。全土の青年よ、吾等が團結して起てる勞農青年同盟は人間社會の中堅である。此際一般青年諸君、吾等の同盟せる團結に加入せよ。日和見をしてゐる樣な人間は一生何事も爲し得る者ではない。

殊に今の社會は手に唾して功名を得やうとしてゐる。資本家キャッラの横暴な社會である。

然るに青年諸君が、寢惚け顔をして居て何うならうか。社會は卽ち青年の獅子吼し活躍せん事を待つてゐる。然し社會自身は決して、青年を引立ては吳れない。青年は須らく自分で起て！　人を待つな。立つて聲を揚げよ、現社會は青年の時代なの

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

進め

である。
×××××、××××××××、××
×××××！
然して正義の道に進む、吾等同志に誰れが邪魔をしやう。亦何程邪魔し樣とも旣に減耗せる徒黨が何れ程の障害になるか。純潔にして元氣ある本領を發揮し、鞏固たる信念を操守して行動し、そして社會を改革し進化せしめよ。【長野　丸山正之】

團結だ！戰へ！

太陽の力と熱によつて燃える樣な夏の日が地上に流れ來た。焦げつくやうな炎暑が吾等無產青年の意氣と魂を眞紅にして×××××××××××××××××。
×××××××××××××××××××××。一方無產青年勞働者は益々意氣××××、×××××××××と平等の爲ブルジョア階級と戰つてゐる。吾が無產青年よ！　奮鬪するは今だ。太陽の樣な熱と力によつて××××××××××。
×××××××××××××××諸君！　吾等プロ青年の××××××××××。
叫べ。ブル階級の××××、自由の爲に、立て、協力と團結の力により魂によつて×××××。××。××、××。×××××××××××××××××××××××××××××××
勝利は吾等の前にあり。
【愛知縣　淺井岩武】

民衆の前進

慘烈な××××××××××××、×××××××××××××××××。
昔から日本に於ても幾千度それは繰り返された事か。徒らに犧牲者を出すに過ぎなかつた。ある時は××××××××××。支配者はその爲めに××××××××。ある時は、エゴの情に唆かされた裏切者によつて尊い同志の一人一人を磔架に縛せしめねばならなかつた。大群の計畫であつたゝめ、手違ひをして粉碎された事實も多い。
さうして裏切者も出ず、手違ひもなかつた時にも、それを××××××××。飢餓に鞭打たれて民衆は×××××××。酒宴の醉ひも醒め果てた老臣等の會議が始まる。××××××××××××。
×××××××××××××言葉に民衆は欺されるのだ。鼻糞程の社會政策が投げ與へられ、引きかへに煽動者首謀者として役立つ人々は×××××××××。更に民衆にとつて恐るべき事があつた。それは民衆を踏臺にして榮達利慾を遂げんとしたものゝあつた事だ。歴史を見よ、その事實は、數へ難い程だ。××××××××××××。
犧牲者の靈を安んずるためには、歴史の教訓を學ぶべきだ。即ち×××××團結協同せねばならない。自由欲求の發露は×××××××、×信念を民衆に把握せしめねばならない。民衆を踏臺にして巳れ專政の慾を遂げむとする××××××××、×××××××。【東京　越山倫】

覺めよ青年大衆

純眞なる青年をして軍閥の下に拜跪せしめ、又は永遠の奴隷化を强ふるものは資本主義でなくて何であらう？　××××××××××××××××、×××××××××××、×××、××××××××××、××××××××××××××。今やかゝる高壓なる魔の手は至るところに瀰漫し、眞の目的は剛健なる國民思想の涵養だなどゝ、見え透いた僞を臆面もなく曝す青年訓練所の崩壞は、當然の結末であるのだ。名古屋に青年訓練所を開設した當時は、八十二ケ所で八千百二十名の多數を擁したが、日を經るに從ひ化の皮のはがるゝ等、現在では總人員の三、四割位となり、缺席者の增加するは憂慮すべきであるさうだが、何も無產者は遊んで食べられぬから至極當然の道を歩むより他ないのである。訓練所の凋落は官僚や軍閥の脅威であらうが、我々には結構な成行であると竊かに北叟笑み乍ら觀望してゐる××××。×××××、×××、××××、××××、××××××××××××××××××××××××××
愛知縣下には四百十七ケ所、人員總數六千九百九十五名で他に私立十二ケ所、人員、千三百三十六名を算する盛況で表面は穩やかなやうであるしかし、その實成績は口にいふ程のことも無く、益々人員の足跡が少くならうとする傾向はお芽出度と言はなくてはなるまい。愛知縣下の青年訓練所の青年諸君が、十二分に自己の立場と自己の使命を知つたなら、古手の在鄕將校や、生くさ坊主の修養講話など靜肅に聞いては居られないと思ふ。無產青年大衆よ覺めよ。
×××××、××××××××××××××××××、×××××××××、×××、××××××××××。愛知青年よ迷夢を破れ、そして團結せよ。
【名古屋　加藤一郎】

血迷へる官憲

去日、吾等は時勢の潮流に從つて臺灣嘉義營林所工場の工人が中心で相互扶助の精神に基き、工友會を組織せり。而して數ケ月後、高雄工友會の解雇問題に端を發せる爭議に吾等は一日間、同情罷業を行へり。
然る處、工場主と嘉義警察課とは相連結して工友會切崩し策として、委員四十餘名を何等理由なしで解雇せり。此に於いて遂に嘉義營林所々屬工人千餘名は一致團結して、日々の辛苦を顧みず、四十餘名の復職を迫つて引續き罷業しつゝある。加ふるに當局の彈壓は峻烈を極め、或は檢束され或は留置され、實にその横暴は絕頂に達して居る。然れども吾等は飽く迄戰ひ、決して屈するものではない。彼等は投げつけられたるマリの反動を知らざる愚者だ。正しきは必らず勝つのだ。
【臺灣　李明德】

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

カール・マルクス（5）

——その生涯と學說——

カハン・コーテス

十三、インタナショナル

カール・マルクスは、その理論的研究に加ふるに、また國際勞働運動に實際的の働きをなした。

一八六四年、セント・ジュームス・ホール（セント●マルチンス●ホールが、正しい——譯者）に於ける會議に於て、インタナショナル（國際勞働者協會）が、確然と組織された時は、マルクスはその組合の知的指導者であつた。これは萬國の勞働階級を團結せしめんが爲めの一つの協會であり、そして其の方面に大きな活動をなした。協會は巴里コムミュンの勃發には確實に責任がなかつたがために、協會は巴里コムミュン員と共に直ちにはつきりと協會の態度を表明することなく、コムミュンが繼續してゐる間のその方面の重要任務は協會のパリー支部員に任じて置いた。コムミュンの直ぐ前に起つた一八七〇——七一年の戰爭に就ては、マルクスは大いに獨逸の社會黨の態度を攻擊し、そしてその黨のプラウシュウイヒ會議に合併政策の止むなき理由を明かに陳言してゐる所の一書を送つた。

一八七一年のコムミュン——これに就ては、マルクスが書いた「佛蘭西の内亂」なる題名の興味ある著書がある——は失敗した。それと共に長い間支配階級の恐怖と憎惡の目標であつた『インタナショナル』は、各國に於て解散せしめられた。これに依つて、インタナショナルの國際的行動に甚だしく阻害せしめられた。加ふるに特に獨逸の勞働階級の團體が、組合は國内的に團結の完成及び發達のために主力を盡さなければならぬと主張した時には、インタナショナルは全たく萎縮した。要するに、この第一インタナショナルがその當時存續してゐたのは、多かれ少かれ、重大なる内部の紛擾が常に起つてゐたと云ふ事實に大いに基因してゐる。かくて委員長としてのマルクスは仕事に非常に追はれるやうになり、また自分の主要なる仕事である所の『資本論』の完成により多くの時間を費やさうと希望してゐたために、彼は委員の職より去つた。そして彼の忠告によつてインタナショナルの本部は、一八七三年にニューヨークに移された。これによつて一つの團體としてのインタナショナルは、暫く終りを告げた。然し乍ら、マルクスは凡ゆる國々に於けるこの黨派の實際の事業に關係を保ち、また彼とエンゲルスとは、歐洲に於けるインタナショナルの非公式の代表者として一般的に認められてゐた。また彼等の所へは、凡ゆる國の社會主義者たちが、絶えず忠告、又は指導を受けに來た。

十四、私生活と性格

さて吾々は、このカール・マルクスの生涯と事業との、あわただしきスケッチを結ぶには、マルクスの個性に一瞥の光明を投じて居り、且つマルクスの仕事をしてゐた當時の悲慘なる生活狀態を物語つてゐる所の彼の娘エリーナーの書簡と、リーグクネヒトの記錄より、少しづつ引用するに優ることはないであらう。

エリーナー・マルクスは、母のノートから引用して次の如く云つてゐる——

「一家がロンドンに到着すると間もなく、一男が生れた。彼は二つになつて死んでしまつた。それから五番目の可愛らしい女の子が生れた。この子も亦一才になつた頃に、病にかかつて死んでしまつた。母の書いたところによれば『三日間、可愛さうに此の子は、死病で苦しんだ。この子は非常に苦しんだ。……その小さなきがらは狹い奥の室に橫たへられた。私達すべて——兩親、及びその一生をマルクスとその家族のために捧げた忠實な家婢のヘレン・デムースに、それに三人の姉娘——は、前の室に行き、夜はユカの上にベットを取り、三人の子も側に寢た。そして私たちは、奥の部屋に冷たくなつてやすんでゐる小さな天使のために、涙をぬぐつた。このいぢらしい子の死んだのは、私たちの最も慘めな困窮の頃であつた。私たち獨逸人の内に援助の出來るものはなく、エンゲルスはロンドンで文筆上の仕事を得んとしたが、失敗して、甚だ不利な條件の下にマンチェスターの父の會社へ書記として行かなければならなかつたし、この時分、よく私共を見舞つてくれて及ばず乍ら世話をするとまで云つてくれたアーネスト・ジョンスも、どうすることも出來ず……思ひ餘つて私は近所に住んでゐて時折り尋ねて來てくれた一人のフランス人の所へ行き、そして私共のひどく苦しい狀態を話すとその人は直ぐと友達らしい親切さを以て二ポンドの金を貸してくれた。その金で小さな棺を買つた。今やその中で可愛さうな子供は靜かに眠つてゐる。この子供が生きてゐる間にも、この子のためには搖籃もなく、またこの小さな休み場所さへも此の子は長らく與へられなかつたのである……」

またリープクネヒトは私に手紙を書いて「それはまあ恐ろしい時代であつた。決して立派な暮しではなかつた」と云つてゐる。デーン街の家の「前の室」（二室しか無かつた）で、マルクスが仕事をしてゐる側で、子供等は遊んでゐた

私はマルクスが子供等に彼のうしろに馬車を造るには、椅子をどう積んだらよいかを話してゐるのを聞いたことがある。そしてマルクスは、その馬車の代りに馬にされ、机に向つて書き物をしてゐる時でさへも、よく「ぶたれ」てゐた。

マルクスと長い間、親密な交際をしてゐたリープクネヒトも、矢張りマルクスが子供に對して持つてゐた強い愛情に就て語つてゐる――「マルクスは何時間でも子供の中の子供となつてゐられる最もよい父親であつたばかりでなく、彼は又、見知らぬ他人の子供にも心を引かれた。特に彼の遭遇して來たやうな哀れな境遇にある頼りのない子供に對してさうだつた。…………即ち身體の弱い者や、頼りのない者……にはマルクスは常に憐れみの情を興奮せしめた。自分の妻を打つてゐる者を見ると、………マルクスはその男を死ぬまでも打たれるやうに命ずることが出來た。さうした場合の彼の衝動的な性格のために、彼及び私達は、よくとんだ目に遇ふことがあつた。この科學の英雄の深い思想と、その子供らしい心とを、充分に知らんがためには、子供と一緒にゐる時のマルクスを見なければならぬ。暇の時や、散歩の時には、マルクスは廻りに子供を連れて、狂はしげに喜々として遊びたわむれてゐた。――要するに彼は、子供の中の子供であつた。…………彼の子供等が成長してしまつた時には、彼の孫がその代りになつた。マルクスの長女のエンニーの長男であるジャン、即ちジョンニー・ロンゲーと云ふ子は、おぢいさんの寵愛物であつた。彼はこの子供の喜ぶことは何でも出來た。また、エンニーも其をよく知つてゐた。」ある時、ジョンニーは「モールを馬車にする巧い考へを思ひついた。御者の腰掛は即ちマルクスの肩であり、ジョンニーが其れに腰かけ、そしてエンゲルスと私はその馬車の馬となるのであつた。トボトボと走つたり、早走りをしたり…………そしてマルクスは額から汗が流れ落ちるまで走らなければならなかつた。それでエンゲルスが私が歩調を弛めやうとすると、殘酷な御者の鞭がピューピューと來て「この横着馬、前へ！」と云つて打たれる。それでまた走り續ける。遂にマルクスは耐へきれなくなつて、それからジョンニーと談判して、休息を要求した。」

リープクネヒトは尚ほ進んで、マルクスの性格に就て、面白い一面の光りを投げてゐる。例へば、時々小供らしい遊びに氣狂ひのやうになつて遊ぶその性質に就て述べてゐる。彼は非常に將棋が好きであつた。――夜おそくなり、そして夜が明けて又一日中將棋をさしてゐることが出來た。そして勝負に負けると同時に、彼のキゲンは惡くなる。それが自分の家に居る時は、最も激しくなつた。この場合、マルクス夫人や、レンヘン（ヘレン・デムース）はリープクネヒトに「モール」とは夕方には將棋をさせないやうにと頼んだものであつた。

マルクスは驚くほどに明快で且つ立派な先生であつた。彼は自分自身、實行する物ごとを徹底せしむることを要求することに嚴格であつたと同時に、親切で我慢強く、何時でも助けることが出來た。名聲などは彼は少しも考へてゐなかつた。彼はその時代の大衆が彼を理解し得ないことを知つてゐた。そして彼の愛好した諺は『汝自身の道に進め、そして他人をして言はしめよ』と云ふのであつた。

マルクスの長男のエドガーは、非常に天才的な子供であつたが、生れた時から身體が弱く、八つ頃になつてからロンドンで死んだ。リープクネヒトは云つてゐる『私はその時の有様を忘れることが出來ない。涙にむせんでゐるレンヘン、二人の女の子をわななき抱きしめて、すすり泣いてゐる母親、またマルクスは凡ゆる慰めの言葉を拒絶し、殆んど怒つたやうに、恐ろしく興奮してゐた。葬列の時にマルクスは、馬車の中に腰を掛け、默つて兩手で頭を支へてゐた。私は彼の額をたたいて「モール君はまだ妻があり、娘があり、また俺たちもゐるじやないか――そして俺たちは君を大いに愛してゐるんだよ」と云つた。すると彼は「然し君は僕の子供を返してくれることは出來ないんだ！」とつぶやいた。…………墓の側でマルクスは、甚だしく興奮してゐた。で、私は彼が棺の後を追つて墓の中へ飛び込みはしないかと氣使つて、彼の側へ行つて居た。』

三年後に彼の妻が死んだ時にも、エンゲルスは同じく葬式の時に、彼の腕をしつかりと掴つてゐなければならなかつた。さもないとマルクスは、妻の墓の中へ飛び込んだかも知れなかつたのである。マルクスの妻は癌をわづらひ、一八八一年十二月二日、死の苦しみを勇ましく戰ひ續けて、遂に死んで行つた。烈しい苦しみにも拘らず、彼女は最後まで一般の出來事に興味を感じ、諧談を云つたり、晴々しい心を持つたりして家族の者に心配を掛けまいとした。娘エリーナーは云ふ「私達の大すきな大將（エンゲルス）が來た時に彼は云つた――それは其時、私の最も悲しいことだつた――「モールも亦、死んでゐる」と。實際さうであつた。

マルクスは餘りに働き過ぎた爲め、彼は夜通し仕事をしてゐる習慣があつた彼の生來の健康な身體も、餘りに注意しなかつたがために、彼は既に時折り床に就くやうなことがあり、また保養のために仕事を止めて旅行をしなければ、ならぬやうな事もあつた。しかしながら、妻の死が旅行によつて得た總ての良い結果を又なくしてしまつた。彼は運動のために身體と精神とを、しつかりしてゐるやうに努めてゐたが、一八八三年一月の始めに、彼の長女のエンニーが又死んだ時には、最早や彼はその打撃から回復することは出來なかつた。一八八三年三月十四日、彼は靜か

齊の安樂椅子によりかかつたまゝ、靜かに死んで行つた。かくしてエンゲルスが云つたやうに『十九世紀後半の最大巨頭』は死んで行つたのである。そして彼の碑銘には、吾々はどうしても、エレナー・マルクスの選んだ次の言葉を用ひなければならない——

『……諸要素が彼の内に混合した爲に自然は立上り得た。また全世界に向つて「これは一箇の人間だつた」と云ひ得たのだ。』

附言——カヘン・コーテスのマルクス評傳は、以上で終りです。いづれパンフレットになつて近刊されることでせう。その節は改めて讀者諸君の御愛讀を乞ふ次第です。何ほ進め社發行の『マ・ル・ク・ス・寫・眞・集』は、大いに讀者諸君の理解を助けるものなることを疑ひません。（譯者）

ブック・レヴュウ

小泉信三氏著「近世社會思想史大要」

青山明

一

本書は著者が『平常講義用其他の爲め、簡略なる書を著す必要を感じて』（序）起稿されたものであつて、大正十四年十月以來、前後二十回に亘つて、雜誌『財經時報』に連載された所の『近世社會思想大略』に增補訂正を加へられたものである。

著者は『執筆に際しては、第一に叙述の簡潔といふ事を心懸けたが、其の爲め說明不十分の弊に陷つた個所も少からぬことであらう（序）』と云つてゐられるが、この『叙述の簡潔』と云ふ點にこそ、本書の特色が存すると私は思ふ。

二

先づ本書のシステムを見るに、それは次の如くである。

第一篇　總論
- 第一章　社會主義概論（上）
- 第二章　社會主義概論（下）
- 第三章　科學的社會主義（マルクシズム）大要（上）
- 第四章　科學的社會主義（マルクシズム）大要（下）

第二篇　英吉利社會思想
- 第一章　十八世紀の產業革命
- 第二章　リカルドオとロバアト・オオエン（經濟學者と社會主義者）
- 第三章　チャアチズムと勞働組合運動
- 第四章　社會主義の復活
- 第五章　勞働黨（上）
- 第六章　勞働黨（下）

第三篇　佛蘭西社會思想
- 第一章　佛蘭西革命
- 第二章　プロレタリアの發達と社會主義的體系（上）
- 第三章　プロレタリアの發達と社會主義的體系（下）
- 第四章　二月、六月革命及び巴里コンミュン
- 第五章　政治的社會主義とサンヂカリズム

第四篇　獨逸社會主義思想
- 第一章　ラッサアル以前
- 第二章　社會黨とビスマルク
- 第三章　マルクシズムとマルクス修正主義

第五篇　露西亞社會思想
- 第一章　ボルシェヰズムの理論と實際（上）
- 第二章　ボルシェヰズムの理論と實際（下）

以上、目次に就いて見ても明瞭である如く、本書は、社會思想史としてよりも、むしろ、社會運動史としての著述である。勿論、吾々としても、思想と運動の相關々係、並に環境の考察を重視するものではある。が、小泉氏の本書に至つては、甚だそれは手際よく纏められてはゐるものゝ、社會思想史の著作としては、重點の置き所が異るものと云はねばなるまい。如何にも本書は、社會思想と社會運動とを、一見甚だ具合よくチャンポンにして說明されてゐて、その點では小泉氏の老練ぶりと、その豐富なる學殖とは遺憾なく發揮されて居り、あたかも名匠の工作にでも接する如き感がないでもない。然し書名は嚴密に云へば、若干のかけ値があると思ふ。即ちその編目に至つても、甚だしく不滿なものがある。と云ふのは、それが徒らに、英、佛、獨、露の各國別と云つた如き、國家的、地域的なる叙述をされてゐるからである。然し少くとも所謂、思想には國境なしである。況んや近世社會思想に於ては、特に然るものがある（さすがに小泉氏もマルクス主義にはナショナリチーを附加せずに別論されてゐるではないか！）。この點から見ても、本書はより多く運動史であると云はねばならない（何ぼ何れにしても、國際的に重要性を持つ伊太利のファシスト、及びアメリカのI・W・Wの如きを、特に叙述されて然るべきであると思ふ）。或は云ふものあらう、『運動の背景に常に思想あり、且つそれにナショナリチーあり』と。尤もである。運動を說いて、その源泉の思想を求め、且つその所產の思潮を論ずることは、吾々の取るべき態度であるだらう。小泉氏の場合も、明かにこれであらう。從つてその意味に於て、其は巧妙なる運動史ではあり得る。が然し思想史それ自身の分野からは、若干の距離あるものたることは否定し得ないと思ふ。（勿論この場合、吾々は、列傳的思想史を呼揚してゐるものではない）。

三

吾々はむしろ氏の社會思想史的勞作は、之を氏の他の著作に於て見るものである。即ち、氏の論文集『經濟學說と社會思想』、『社會問題研究』、『價値論と社會主義』などに收錄されてゐる諸論文に於ては、立派な思想史研究があることは疑ひない。今度の氏の著作は云はゞ氏の此の方面の唯一の體系的著

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

作であるだけに、吾々の期待は大きかつたのであるが、反つて期待の幾分は前述の意味に於て薄らいだと云はれねばならない。

■

然し何と云つても名匠の巨作たる本書は、通讀して數へられた點が甚だ多い。以下吾々は二三の點に就て所感を記したいと思ふ。

先づ初めの社會主義概論は、むしろ冗漫であると思ふ。次のマルクス論では、その人物批評(三四—三六頁)は、甚だ巧妙な筆致で、しかも故事の豐富な知識を以て僅々二頁餘りに壓縮せられてゐる點が、大いに目についた。また、階級鬪爭—搾取關係—剩餘價値論の關連を手際よく説かれてゐる(四二—四三頁)のも、恐らく氏の獨創的なものであらうと思ふ。

尚ほ玆に一言して置きたいことは、マルクス年譜中(五三頁)に「一八四三年始めてエンゲルスに會ふ」とあるが、これは「一八四二年」が正しいのではなからうか。ドランの「マルクス年譜」(九頁)にも「一八四二年十一月」となつて居り、またマルクスの女婿ラファルグのエンゲルス追憶の記「ノイエ・ツァイト」にも、一八四二年の十二月の末にエンゲルスがマルクスをライン新聞の編輯局に初めて訪ふた、旨のことが書いてあつたやうである。(手元に今原文を持たず)。マルクスとエンゲルスとの初對面が何時であつたかの如きは、小さな問題のやうであつて決してさうでないと思ふ。このことが從來ほとんど問題にされなかつたやうであるから、玆に此事を特に記して、「マルクス・エンゲルス傳の發達」の筆者小泉氏の御調査と御教示とを乞ふ次第である。

次に氏はある箇所で『元來マルクシズムは、ブランキズム・プラス歴史哲學プラス經濟學とも謂ふべきものである……』(二〇三頁)と述べて居られるが斯した説明は果してどうであらうか?

また「ボルシェキキは後に共産黨と改稱したが、ボルシェキキ共産黨は、終始一にレニンの意思に依て指導せられたものであるから、ボルシェキズムといひ、共産主義といふものは、畢竟レニニズムに外ならぬのである」(二九七頁)と云ひ、「レニンは書籍を知ると共に人間を知り、理論と實行とに並び長じ、狂信家たると共に日和見主義者たる稀有の人物であつた」(三〇六頁)と云はれるのは、たしかに稀有に巧妙な、然し卑俗的な、詭辯的な説明ではないか。

最後に、卷末の研究書目に就てであるが、これはつまらぬことではあるが、本書が講義用其他(其他は何であるか知らないが)このために書かれた著作でゞもあるからして、邦譯のあるものは、その譯書名を全部附記して欲しかつた。勿論、四五のものは擧げられてゐる。それだけに一層もつと徹底的にビブリオグラフイを作られたかつたと云ふのである。その「作成」は必ずしも「容易の業ではない」ことはないのだから。

(二・五〇頁、岩波書店刊)

プロの詩

進め大衆

下山利喜智

曉の空は芙蓉色を帶びて
日の出は今淡々たる彼方の天地に訪れ
やうとしてゐる

○

我等は深き奴隷の夢より目覺めた
我は歌はん、同志と共に
朗かな——曉の光を浴びて
黎明期の歌を

○

おゝ友よ來よ——同志よ來れ
共に心を擲り××××××××
進む時

○

おゝそこに横たはる
資本家×××××××××
偽善的な彼等の温情何ものぞ

○

××××××××
××××××××
黎明期の歌を唱ふ時

○

おゝ——そは——
我等の世だ
自由の國だ
平等の社會だ

○

我は生きん——大衆と共に
我は歌はん——我等の社會を

理想郷へ

佐々木金次郎

飛く深きは吾等の努力だ
××××同志の意氣だ
理想郷を胸に畫いて
吾等は進む×××× ×

○

吾等は生きん××××!
吾等は××××××!
嘲罵讒謗×××!
魂は堅し鐵心石腸

○

友よ來りて吾等と叫べ
自由と平等を××××!
××××××××!
吾等は進む××××××!

勝利を前に

北川カズ子

おゝ同志よ!
私達無産者を
×××、×××
×××××口から
生神だ!慈父だ!得々
だが同志よ!
私の全身は×××××!
強大な力をもつ××××!
××××××××
×××××××××!
おゝ同志よ!
×××××××!
××××××
私達の歡呼の聲
彼方からは
赤々とした自由な太陽が
かゞやき初めた

朝鮮社會運動小史序說(二)

金熙明

第二章 朝鮮獨立運動の眞相(一九一一年――一九一八年時代)

七、獨立思想と宗教關係

アメリカ人に依つて朝鮮に傳來したる基督教の恩惠は偉大なものがある。それは宗教的に救はれたことを意味するものにあらずして、即ち朝鮮に早くも新文明の風潮を樹てたのは基督教を介しての運動であるアメリカ人の功績が多大である。朝鮮獨立時代の遺物として現在なほ朝鮮民族に多くの惠澤を與へてゐる施設として、病院の如き、學校の如きはその時代の愛國的信仰の血に依つて築き上げたものである。キリスト教は朝鮮に新時代の信仰を與へた、藝術を與へた、教育を與へた、更に自由精神と正義博愛的良心を强調した。而してキリスト教は愛國的情熱を朝鮮青年の頭腦に樹て、科學的新文明への經路を與へて呉れたのである。かくしてキリスト教は最後に自由を教へ愛國的情熱より獨立精神を旺盛ならしめた。かくして朝鮮に於ける騷擾勃興前後のキリスト教並びに天道教其他のあらゆる宗教は、朝鮮民族の自由に對する信仰を說き愛の復活を傳道して遂ひにその結果を大成せしめたのである。

八、武斷總督の更迭

斯くして、×××××××、朝鮮獨立騷擾の責任者時の朝鮮總督長谷川好道はこの全責任を負ふばかりでなく、從來の武斷的施政方針が根本的に間違つてゐることを悟らなければならなかつた。×××××××××××××。×××。而して內外の運動は相呼應して迅速に且つ積極的になりつゝある傾勢であつたゝめ、時の總理大臣原敬氏は民心緩和の一方針として×××××××××××長谷川總督を辭退せしめ、男爵海軍大將齋藤實氏をその後任として朝鮮に遣はし、法學博士水野錬太郎氏を以て政務總監としたのである。

九、×××××××

武斷總督更迭に依り文化政治の基礎を確立すべく齋藤實總督並びに水野錬太郎政務總監は救世主の如く大正八年×××。××。××××××××××××××××××××××××××。

×××。×××。

一〇、所謂文化政策

入鮮早初×××××××××××、齋藤總督並びに水野政務總監は、不日、朝鮮統

創作 梅雨の頃

小田實

外界は頭の髓まで腐らす如な陰鬱な梅雨の降り續く六月だつた。彼は過度の勞働の爲めに身體をベチヤンコにされて病床に呻いてゐる。さうだ此の間日傭で道路修繕の砂利拾ひに行つたのがこたへたのだ。

彼の病室、黑ズンだ低い天井歪んだ柱、くずれ落ちた壁の隙間からのみ明るみの洩れる眞つ晝間でも淡暗い三疊の部室、濕氣は容赦無く古ボケた疊をジメジメとし、薄闇は汚臭で鼻をついた。

肺病を患つてゴホンゴホンと苦しさうな咳をし續けながら彼の弟と彼の妻と彼の父の三人が相次いでこの同じ一つの部室で一年隔きに咯血し、呻き、病魔の爲めに身體を摺り減される樣に瘦せこけては死んで行つた。

父、妻、弟、愛する肉親の者の嚴肅な死に直面しても彼には思ふ存分哭けるだけの餘裕が無かつた。

打ち續く不幸の爲めに醫者の支拂や病人の失費が嵩んで彼の一家は一文の餘裕も無いまでに逼迫した生活に苦しめられてゐた。年老つた彼の母が豆腐ひきをして得る僅かな收入では病人の藥代や滋養どころの騷ぎでなく一家の者が漸くに餘命をつないで行ける程度のものしか無かつた。

死者を前にする度ごとに生き殘つた彼と生活に疲れ切つた彼の母とが棺代や葬式費用の算段に途方に暮れ逃避出來無い悲しみを幾度も〱激しく悲しまねばならなかつたことか。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

治を文化政策を以てすることを民間に公表した。而して職制の一部を變革し憲兵警察制を撤廢して巡査警察制に改め、更に文官に限りては制服帶劍を廢止したのであつた。而して民心緩和の一方針として當時朝鮮年老者階級が騒いでゐた共同墓地法を修正して民間の意志を尊重する等の如き幾多の新施設を實行した。××××××××××××××××××××、××××××××××××××××××××××××××××、×××(×)××、×××××××××××××××××××××××××。×××××××××××××、×××××××××××××××、×××××××××××、××。

二、米國、上海方面の運動

米國及び上海方面に於ける獨立運動者は、主に米國の後援に依つて目的を達成せんと企てた。即ちキリスト教を中心にする一派で、布哇や桑港に大韓國民會といふ結社を作つて在米朝鮮人の大部分を結束し「新韓民報」「國民報」等の排日新聞を發行して盛んに排日熱を煽り、又布哇に於て武官學校を經營し國内の青年を彼の地に誘導して武官の養成に努めた。この關係からして一九一二、三年頃には全鮮から盛んに青年が上海を經て密渡米を企てたのであつた。從つて當時から上海は米國方面と朝鮮との唯一の中繼地となつてゐるさうして上海に韓國假政府が設けられて、爾來獨立運動の策源地となつたのも、かゝる由緒と今一つには日本政府の主權が及ばない安全地帶であつたからである。この一派は、歐洲大戰の結果を見るや、その終局に當り一大運動の結果××××××××××××××××××××××××××××××××××××、時偶々一九一七年八月米國紐育に於て二十五弱少國會議といふ全世界被壓迫民族の會議が開かれ、在米朝鮮人團體大韓國民會に於てはその代表者として朴容萬(在布哇武官學校經營者)を同會議へ參列せしめた。その目的とする處は、弱小國が團結して正に巴里に開催されんとしつゝある世界戰亂講和會議に發言權を得やうとするものであつた。續いて一九一八年十一月(即ち對獨休戰條約締結後)この弱少國會議は再び紐育に於て開かれたのであつた。その當時朝鮮民族の代表者として參列したのが李承晩、閔贊鎬、金奎植氏等であつた。而してこの時は例のウヰルソン大統領の聲明した民族自決主義に均霑すべく講會議に提案要求するといふことが非常に問題となつたのである。

之は主として一九一九年一月までの運動であるが、恰も時講和豫備會議が巴里に開催せらるべく各國の使節が巴里に參集しつゝある矢先であり殊に米國ではウヰルソン大統領自ら巴里に出馬仕樣といふので、在米朝鮮人は先づ第一に朝鮮獨立承認を米國上院に請願したのである。これは恰度一九一九一月二十五、六日のことである。

三、上海假政府

海外に於ける朝鮮獨立運動の中心人物は、上海に假政府を置き朝鮮內地と各地に散在してゐる同胞の運動を統一し且つ之を指揮した。いまその主なる人の名を列記すれば左の如くであるが彼等は數十年間を亡國の民として海外に放浪し、×××××××××××××××××××××××××××××。

假政府大統領――李承晩(京城人)
同勞働局總辨――安昌浩(平南人)
同學務總長――金奎植(京城人)
同法務總長――申奎植(同)
同外務總長――朴容萬(忠南人)
同軍務總長――盧伯麟(黃海人)
同交通總長――金徹(同)
同國務院議長――孫貞道(平南人)
同大統領秘書――鄭翰景(同)
同外務次長――呂運亨(京城人)
同內務次長――玄楯(同)

之は一九一九年假政府設置當時の職割であつたがその後運動の狀勢に依り相互地理的に離れ、運動方針の相違より分離したるがため現在は、職割をソヴエツト式に委人制となし金奎植氏は委任長の職にあり、盧伯麟氏は現今北滿州方面に活動して居る。なほ呂運亨氏は往年日本の國賓として東京に來り、日本の政界にゴタ〳〵を捲き起したことは未だ耳新らしいことである。

(續く)

彼の幼い妹や頑是無い彼の二人の子供達が肉親の者の死に際してもお祭騷ぎの如く嬉々として菓子をねだり戯れ遊ぶのが餘計に彼の心を暗くし傷しいものにした。

彼の妻が十分な醫療も出來ず、滋養も採れずに苦しみの中に息を引き取つたとき、四十度を超える如な高熱に惱まされ續けてゐた彼の父は「仕方が無い、實家へ引き取つて埋めて貰つたがよい」と男泣きに泣きながら言つた。

けれども彼としては愛する妻を、生活が如何に苦しいとは謂へ、妻の實家へ死後の厄介まで掛けたくなかつた。生前十分な手當のしてやれなかつたせめてもの慰めには自分の妻として自分の家の墓地に埋めてやりたい願望だつた。

世間は薄情だつた。貧乏は呪ふ可き現實だつた。病氣がよくないと云ふ理由で近親の者と誰一人として見向いて呉れる者が無かつた。

瀕死の病父を母が看護してゐる側で、亡妻の湯棺から、死裝束を自分一人の手で處理しなければならなかつた彼は、今でもこらえこらえした悲しみが塊になつて咽喉の中がひとりでに詰まつて來る樣に思つた當時の苦しかつた追憶に心を傷めるのだつた

××病院の院長さんに診て貰ひたいと言い言いしながら、死んで行つた彼可憐な妻のことや、暑氣に苦しめられながら、暑い暑いと喘ぎ續けて苦熱の八月を酒倉の樣な此の三疊の部屋で、彼と彼の母の二人だけに看護されて、淋しく息を引き取つた不具の父のことを思ひ起すと冷たい涙が止め度もなく彼の双頰を流れた。

彼は今、肺患で不遇の中で斃れた薄幸の同志の事を思ひ出して、又新らしい涙に誘はれた。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

創作

試練の中に

吉田金重

「Yさん、あなたは暫らく休んで下さい。」

「なぜです？」

「なぜつて、あなたは非常に健康を害したゐられるやうだから、御養生をなさつた方が宜しいでせう……」

「いや、私は少しも健康を害してはゐませんから養生する必要はありません。」

「さうでないやうです、第一あなたの顔色が悪いぢやありませんか、たしかに強度の神經衰弱に罹つてゐられるに違ひない……」

庶務課長は、私に病氣を強いた、しかも承認させるために、工場の係り醫を招いた。私はしかし、それをまで拒否するには、あまりに正直であつた。係り醫は、庶務課長と立ち會ひの上、一室のうちに私の脈搏をはかつたり、打診を試みたりした。

「なーに、科學は正直だ。」

私は信じた、信じた科學はその使用者に欺かれた！　係り醫は、誠しやかにすゝめた。

「さうです、たしかに強度の神經衰弱です、それに肋膜も悪いやうです、暫らく御休養なすつた方が宜しいでせう……」

「さう、それやいけませんね、強度の神經衰弱のほかに肋膜まで悪くちや……」

庶務課長は、今更らしく私の顔を瞶つた。それは、私にさう信じさせるといふよりむしろ、どこまでも病氣を強いてゐるかのやうだ。私は庶務課長と、係り醫の顔を見較べた瞬間、直覺せずにはゐられなかつた。

「さうだ、彼奴らは俺さへ追ん出しさへすれば、工場内の勞働組合が解散するか、潰れるやうに思つたやがるのだ、したがつて賃金値上げや、時間短縮の要求も立ち消えになるやうに考へてやがるのだ……」しかし、私は念を押した。

「あゝさうですか、私は強度の神經衰弱のほかに肋膜まで悪いですか？」

「えゝそれやたしかです、もし打つ捨つといたら危險な狀態になります。」

係り醫は巧く罠にかゝつたかのやう、庶務課長の顔をぢろり見やつた。

「危險な狀態？　それや大變です……しかし庶務課長さん、強度の神經衰弱肋膜の悪いやつはどうしたら癒るでせう？　いや、これや庶務課長さんぢや分らない、やつぱり係りの先生でなきや……」

私は皮肉にも、病氣の處置を訊いた、そしてどう答へるか？　答へによつては……と、ぢつと瞳を据へた、僅かばかりの隙も見せまいとするかのやうに。庶務課長はさすが、うつかり答ふべきではないかのやう、係り醫にそれとなく眼くばせした。

「それやなんですね、やつぱり田舍へお歸んなつて、靜かにお百姓でもなすつた方が一番いゝと思ひますが……」

「打つ捨つといたら危險な狀態になるやうな病氣で、靜かにでも百姓が出來ますか？」

私は一歩を踏み出しながら、鋭く切り込んだ。しかし、庶務課長はきつと、だが如何にも落ち着き拂ひながら、

「出來ないことはないでせう、先生がさう仰しやることだから、まさか誤りはないでせう……さうなさい、それがもつとも上策だ。こつちでも、病氣の人では困るから……」

「病氣の人では困る？」と、庶務課長を一瞥した私は更に係り醫に向つて「ぢや、私の病氣はどこから來てゐるんです？　強度の神經衰弱や肋膜が悪いのは……私はこゝへ雇はれるまで、いや、警察にゐる時代から非常に健康だつたのです、三晝夜ぐらゐ不眠不休でゐても、びくともしない身體だつたのです……いや、それも無駄でせう、承りますまい。どうせあなた方らは全能なんですから……」

「私にはそんな事情までは分りませんが……しかし、とにかくあなたの病氣はですな、つまり、たしかに不攝生から來てゐるやうです、不自然な生活から來てゐるやうです……ですからまあ田舍へお歸んなつて、靜かにお百姓をなさい、それが一番宜しい、さうするうちにまた癒るでせうから……」といひながら、急に椅子を立ち上つた係り醫は「ぢや庶務課長さん、私はまだほかにたくさんの急病人をひかへてゐますから、これで失禮いたします。何しろこの暑氣ですから次から次へと……」

「これや〳〵、お忙しいところをありがたう……」係り醫を外に送り出した庶務課長は、なぜか私を警戒するかのやう、室内を行つたり來たりしながら、「田舍へお歸りになる旅費ぐらゐは、會社の方でなんとかいたしませう……あなたがたゞの職工なら工場法の規定もあることですから、それ相當の手當もしなければならない譯ですが、臨時に雇つた守衛であつて見れば……」と首を捻つた。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

「いや、さういふことなら旅費も貰ひますまい、したがつて、田舎へも歸りません。また歸るべき田舎もなければ、作るべき田畑もありませんからね……ましてや私が、私の自由な行動をとるに、他人の干渉まで受けたくないです！」

「君はあまり潔癖過ぎるから、いつも損ばかりしてゐる、そんなに病氣を強ひたからつて、よさなかつたらいゝぢやないか……よされたら、すぐにも食ふことに困るからつて、なぜ頑ばらないんだ？」

噂を聞いて馳けつけた、この會社の工場でもつとも古い友達でありながら、私がH.K.や、K.Nなぞとゝもに勞働△△會を結成し、その支部をこゝに設け職工達の間に宣傳し、勸誘しだしてからすつかり反感をもち、仲さへ惡くなつた倉庫係りのT.Nは、かう詰りながらも撤回をすゝめた。T.Nの個人的な親切に感謝しながらも、私の立場としてどうしてそれを撤回することが出來やう、しかも意圖あつての會社の處置に、かうなればどこまでも、自分の考へを徹底さすまでだ。無策にして、たとひ慘敗するとも、このまゝ屈伏することがどうして出來やう！

「俺は、俺としての覺悟があるんだ。」

「覺悟があつたて、それやますます君を惡くするばかりだよ。君は職工達のためを思つてやつてゐるか知らんが、職工達は君なんかのことは、なんとも考へてやしないよ。第一、君がそんな理由でよすんなら、會社が惡いといふことは分り切つてゐるんだ、それならまづその職工達が團結して幹部でもあげて、それ相當な要求でも持ち出さうぢやないか……だから今更ぢやない、そんなつまらない勞働運動なんかよして、創作でも一生懸命にやり給へといつてたんぢやないか……」

さうだ、私とT.Nとはこゝ四五年ばかり前――大正四五年頃から小說家のM.Oの家、S會このかた同じ文學に志し、今や劇作家のM.Fなぞとゝもに□□主義文藝を標榜する雜誌「黑煙」の同人だ。しかし、たゞに文藝にのみ滿足してゐられないといふよりもむしろ、切實な問題に直面した私は、ちつと傍觀してはゐられなかつたのだ。

「なぜ、勞働運動より以上に、□□主義文藝が立派なんだ？」××××××が何になるんだ？」私はいつものやうにT.Nに喰つてかゝらうとしたが、明日の生活をひかへた自分としてたゞ、「いや、今は俺達のもつとも困難な時代だよ、それを突破すべき試練期にあるんだよ、職工達は賃金値上げと、時間短縮の要求書を會社に提出してゐる。會社は俺が陰で糸を引つぱつてゐる如くに睨んでゐる、したがつて俺さへ追つ拂へば勞働組合も解散し、潰れるやうに思つてやがる、ばかりか提出中の要求書さへ撤回されるかの如くに考へてやがるのだ、それや時の流れを知らない會社の錯誤だ、それが錯誤であるかないかは後に分ることだ……」と、苦しい說明をするよりほかはなかつたのだ。

「それや君のかつてだが、明日からも食ふに困るだらう？　食はずに何も出來やしないぜ……俺はなんとか、會社に相談して見てやらう。」

「いや、會社に相談ならよしてくれ給へ。俺は彼奴らに弱腰を見られたくないから、それは勞働組合の團結を見くびらすといふことだ。それより君はいつまでも依估地を通さないで、職工達の意志に同化してくれよ。俺はこれからどこかの工場へ入るか、自由勞働でもやりながら連絡をとるから……筆を投じて戎軒を事とすることも切實だよ、まして君らはさうぢやないか……」

しかし、T.Nは否とも、諾とも答へなかつた。私は重だつた職工達に、自分の意志を打ち明けて去つた。

その後、職工達はしばしば、私の屋根裏に足を運ばせた、ところがそれと同時に私を訪ふたのは、××××の○○係りであつたのだ。私は妙な男に尾け廻された、曾ての自分のやうな男に……どこの工場でもていよく斷つた、しかも職工蒐集の札を揭げてゐながらである。で、私が最後に選ばなければならなかつたのは、自由勞働であつたことはいふまでもない、あの焦げつくやうな炎天の下に。

しかし、すべてが成功したか、また敗衄に終つたか？　それはこゝに問ふべきではない、なぜなら、私らは未だ試練の中にあるではないか――。

全土の貧農よ

綱島幸雄

荒田に思索する俺達の
××××××
××し××せんとする
×××××地主！

×××進軍××たる
明日の日を前に控へ
俺達は×××××！
正義の道へ突進するのだ！
俺達の眼前に横たはる
××××××××××！

俺達は××××
冷靜に而も熱烈に！
××××××
××××あるのみだ！
俺達はその目的×××
×××地主××！
土地と資本を××××
××××！
俺達の行動は
××××××××！

勞働運動講座

ロシアの勞働運動

淺野研眞

第一節　序説

ロシアに於けるプロレタリア解放運動は、同じヨーロッパの内でも西歐諸國とは、全く別な形態を持つものである。吾々は少くとも、その特殊相を認めねばならない。

一言にして云へば、ロシアの解放運動は、極端なる壓制に對する全身的な反抗であつた。そして最も早くプロレタリア國家を地球上に於て、建設したものである。

元來、ロシアの民衆は、深刻なる人生に生きて來たものであつた。彼等の民族史は、一種の苦惱史であつた。而かも他面、壓制階級に對抗し來つた一種の活力が、斷へず根強く流れて、やがてはプロレタリヤ革命の先驅者となつたのである。

茲に少しく、現代ロシアの、社會史的背景を見るならば、古代及び中世のロシアは、征服と被征服との舞臺であり、異人種の鬪爭と其の反抗との歷史で彩られてゐる。近世的國家の形成さるゝに及んでは、上層社會にブルジヨアジーが斷然として位し、國民の多數を占むる農民は、全く奴隸狀態の下に一階級をなしてゐた。そして中等階級は極めて貧弱であつた。かくて必然的に擴大さるべき階級鬪爭を準備してゐたのである。

スラブ民族は、元來、友愛的、相互扶助的な民族であつた。專制制度を極力忍んだ彼等は、ミール(有名なロシアの村落共產體)と稱する社會組織を生んだ。

またユジニーや、ノブゴロドの自由國は、民主的傾向を有してゐたものである。然るにバルチツク沿岸地方に、ゲルマン民族の勢力が勃興するに至りスラブ民族は海洋から隔てられてしまつた。また次いでタタールの蹂躪のために、彼等の社會は、痛ましくもその生長の幹根を折られた。かくて三世紀餘は、韃族の苛斂誅求の下に苦しんだしかし漸くモスクワ王朝の樹立さるゝに及んで、形勢は一變し、シベリア發展のことなどが起つて、王朝の權力の擴張と共に、軍隊制度の充實となり、かくてしてロシアの資本主義時代は初まり、再び下層階級は租税に苦しむことゝなつた。

近代的プロレタリア運動も、かくしてその出發を見ることになつた。

第二節　初期の運動

一

近世的ロシアは、まことにピ・ートル大帝の治世を以て始まる。

ツアール、ピ・ートルは、詩人プーシュキンの云つた如く、「西歐に向つてロシアの窓を開いた」人であつた。かくて西歐文化の潮流は、一時にロシアに流入した、一七五五年には、モスクワに最初の國立大學が設立され、かくて近代思想の洗禮が、ロシア青年に行はれ初めた。

二

ロシアの近世的な民衆運動は、一八二五年の十二月黨(デカブラリスト)が先づその先驅者と見て良いものである。

しかし、もつと大きい出來事は、農奴解放令であつた。即ち中世期なロシアから近代ロシアの受け繼いたものに農奴制度があつた。これが如何に悲慘なものであつたかは、多く云ふまでもなからう(例へばクロポトキンの自叙傳「革命家の思出」を見よ。)

然し此の農奴制度も、一八六一年に解除された。然し此の農奴解放令の後に於ても、到る所に農民暴動が起つた即ち農奴は形式的に解放されたのみであつて、實質的には何等解放されて居なかつた。否なむしろ近代的農村プロレタリアとしての苦難が增したからであつた。

かうした間に一八七六年には、革命的結社「土地と自由」(ゼムリヤ・イ・ヴリヤ)が創立され、次いで一八七九年には、之から「人民の意志」(ナロードーナ・ヴリヤ)と「國土分割」(チエルニイ・ペルデル)との二團體が分立した。

當時は、盛んに「民衆の中へ」行く(イッチ・ウ・ナロート)と云ふ運動が行はれた。大學生は村落に行つた。近代思想は、かうして地方民衆の間に滲透して行つた。

而して、人民の意志は後に社會革命黨となり、國土分割に屬してプレハノフ一派は後に社會民主勞働黨を作つた

第三節　大革命まで

一

一八七〇年代から、ロシアの民衆運動は、可なり猛烈になつて來た。

ヘルツエン一派のナロドニキーは、盛んにテロリズムを唱導した。一八八一年には、アレキサンダー二世は、彼等の暗殺するところとなつた。次いで即位したアレキサンダー三世の時代は反動時代として現はれ、國内の運動は全く不可能となり、多く人々は、國外に亡命した。

二

十九世紀の末葉に至るに從つて、ロ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

シアの資本主義は、次第に發展し初めた。

　プロレタリア運動も之に順じて進展し、主としてマルクス主義を採り入れて來た。そして近世的、國際的な無産者運動が、行はれ初めて來た。ロシアにマルクス主義を輸入したものでは、プレハノフを以て嚆矢とする。プレハノフはロシア・マルクシストの父と稱せられてゐる。

　一八八三年、プレハノフは、アクセルロードや、ベーラ、ザスリッチや、ドイッチ等と共に、瑞西に於て「勞働解放團」を組織した。

　次いで一八九八年には、ミンスクの大會に於て、進んで社會民主勞働黨が創立された。そしてストルーべの起草にかかるマルクス主義的綱領が採用された。

　この社會民主勞働黨は、一九〇三年のブルッセル・ロンドン會議に於て、急進派と漸進派とに分離して急進派の方が過半數を占め、少しばかり多數があつたから、これを多數派（ボルシェビイキ）と稱し、他を少數派（メンシェビイキ）と稱することになつた。

　ボルシェビイキは、主としてニコライ・レニン（1870――1924）等によつて指導されて居た。

三

　また他方、ナロドニキ（國民主義者）の一派は、一九〇一年に至り、社會革命黨を作つた。一九一七年の第一次革命は、この黨によつて行はれたものであつた。しかし其の主張は小ブル的であつた。

　他方、ロシアの資本主義は、盛んに植民政策を試みた。即ちシベリアの開發から、支那侵略にまで進出して來た。茲に於て、日本の資本主義との衝突を來し、終に日露戰爭（一九〇四――五年、明治三十七――八年）を惹き起した。

　日露戰爭での敗北は、プロレタリア運動を躍進的なものにした。即ち一九〇五年の革命は勃發した。かくして同年十月三十日には、終にデューマ（國民議會）の開設の詔勅を下し、民衆のために安全瓣を設けることになつた。

四

　かかる間にも、西歐諸國の資本主義は、露骨なる帝國主義にまで進展し來つた。かくて世界大戰は、必然的に勃發し來つた。

第四節　大革命以後

一

　大戰の結果は、各國とも非常なる社會的變化を蒙つたが、ロシアほど甚しいものはなかつた。

　一九一七年三月十二日（露暦二月廿七日）、ペトログラードに食糧暴動が起り、兵士が之に加はり、かくて第一次革命は成就して、帝制は倒れた。

　革命を指導したものは、社會革命黨の領袖ケレンスキーであつた。

　然し此の微温的な新政府は長らく續かなかつた。

　同年十一月七日（露暦十月廿五日）勞働者と農民とは終に起つた。かくしてレニンの指導の下に、政權はボルシェビイキの手に移された。そして「凡ての政權はソビエットへ！」の言葉の下に、新しいソビエット制度（會議制度）の勞農政府が樹立された。

　茲に於て、地球上に初めて、プロレタリアの國家が建設されたわけである。

編輯室より

□前號は、發行即日、又亦、發賣禁止の災厄に見舞はれた。敢えて奇とするに足りないが、斯くも、屢〳〵連續的に、たゞ一片の紙片に依つて其の生命を斷たれては、流石に、餘り良い氣持ちはしない。

□我が、無産階級運動に對する、田中内閣の彈壓政策は、如何なる程度のものであるか、此の頻々たる發禁命令によつて、明かに、知ることが出來る。

□彼等は、既成勢力を脅威せしむる思想の、展開を防止する手段は一に言論の抑壓にあると誤信してゐる。然しながら、我等の、××××××、斷じて、世に謂ふ所の、時代的流行思想ではない。社會進化の、××××××前に立てる、××××、××××××、××、××××。

□我々は、單なる言論の抑壓、封鎖に會つて、據かに狼狽するものではない。無産階級の運動は、獨り、×××××××××。彈壓、何ぞ恐れんや。（編輯子）

二

　革命後のロシアは、レニンを中心とするボルシェビイキによつて指導されて來た。ボルシェビイキは、後すに至つてロシア共産黨と明かに稱することになつた。その指導精神は、マルクス主義の史的發展たるレニン主義である。

三

　一九一九年三月には、レニンを主唱として、モスクワに於て第三インタナショナルが成立して、國際的プロレタリア運動の中心を形成した。（此年二月に第二インタナショナルが、瑞西のベルヌに於て復活してゐる。）

四

　ロシアは未だ資本主義の幼稚な國であつたので、革命後、色々な不便が生じた。一九二一年の春に施行された新經濟政策（ネップ）の如きは、正しく是る事情を物語るものであらねばならぬ。

五

　一九二四年にレニンが死んでからは、此の革命の使徒が遺して行つた志は、最早や破られはしないで次第に生長せしめられてゐる。然し内訌はなか〳〵に頻出してゐるやうだ。

（完）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

社會運動の急先鋒

月二回

大衆新聞

一部五錢
一年一圓

長崎縣諫早町原口名六九二

大衆新聞社

無産者法律雜誌

月刊

法律戰線

一部十錢
一年一圓

東京市外雜司ケ谷八一五

生活運動社

振替東京三六四五五番

無産青年前衞機關

旬刊

青年新報

一部五錢
送料不要

長野市妻科町一五九

勞農青年同盟

稻瓜類、梨其他農作物の害虫がスグとれる

專賣特許 **イマヅ殺虫劑**

人畜作物には安全な藥

イマヅ蠅取粉の發明で有名な、今津博士は果樹、蔬菜、稻作其他の農作物の害虫驅除に驚くべき効力あり、然も人畜、作物には全然無害な

◇專賣特許イマヅ殺虫劑

を發明し各農家へ分讓する事になつた。

▲各栽培者は是非使用せられるがよい。

稻の害虫、螟虫、青虫、浮塵子類に
イマヅ殺虫劑粉 十二匁、石鹼 十五匁 水一斗液

瓜類の瓜守、じむし(瓜守幼虫)に
イマヅ殺虫劑粉 十五匁、石鹼 廿五匁 水一斗液

梨の軍配虫(ぐんばいむし)に
イマヅ殺虫劑粉 八匁、石鹼 十五匁 水一斗液

△全國藥店、種物店、肥料店、其他にあり。

定價 小罐 參拾錢(送料四錢)
一磅入罐 壹圓五拾錢(送料十八錢)

大阪市東淀川區三國本町

イマヅ蠅取粉殺虫劑製造元 今津化學研究所

振替大阪六八〇八九番

社會問題パンフレットを備へよ!

マルクス 哲學の貧困

定價 一部三拾錢 送料不要 切手代用可

マルクスの初期の名著「哲學の貧困」の要領よき抄譯。一讀その大要を知悉し得る便利なもの。

社會文獻 何を讀むべきか

定價 一部三拾錢 送料不要 切手代用可

社會問題に關する主要な日本の文獻を網羅したもので、初學者にも研究家にも極めて必要で便利なもの。

發行所 社會問題研究會

進め社本部で取次する

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

効力も
火持も
無害も
一等

安住かとり線香

本舗 株式會社 安住大藥房

婦人良藥 **喜谷實母散**

産前、産後、血の道、引風、冷込等に特効有

▲全國到る處に販賣す

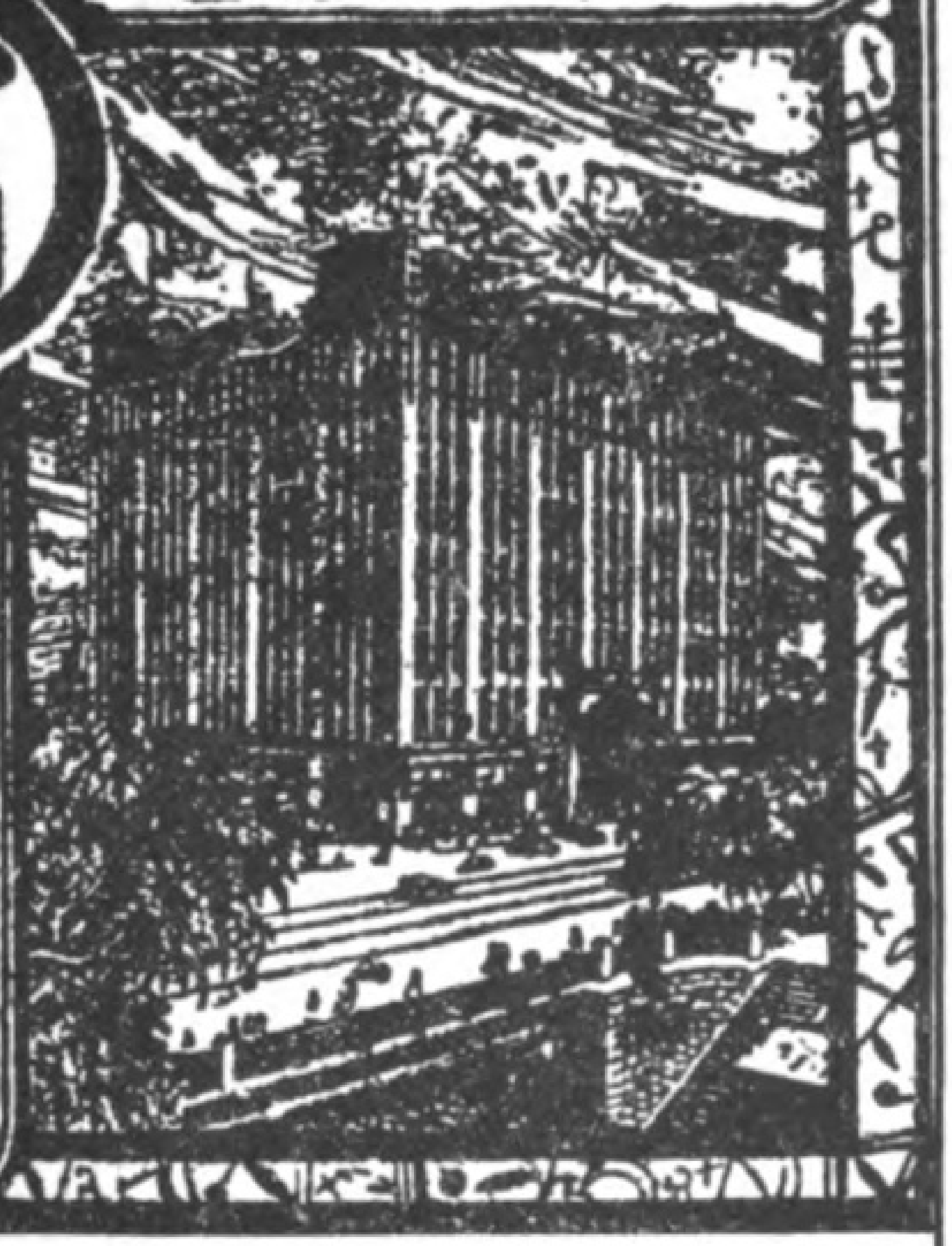
本舗 東京京橋區中橋大鋸町 喜谷市郎右衛門
電話京橋 五五番 五六番

金銀
白金

德力本店
東京市神田區松田町

幸福と平和の殿堂
本社 東京丸之内
社長 池田龍一
御申越次第保險案内進呈
日清生命
代表電話牛込五千弐〇六番
振替口座東京九千二百十番
支社 東京・關東・大阪・京都・福岡・名古屋
仙臺・廣島・金澤・札幌・京城・臺北

大阪日本橋……實用百貨……名古屋
松坂屋呉服店
東京銀座……良品廉賣……上野

お客様の高島屋

實質本位の百貨店
高島屋呉服店
大阪長堀橋

精工舎製腕時計

SEIKO
歐米各種時計
裝身具ヒスイ
サンゴ鼈甲類
貴金屬美術品
精工舎各種時計
金銀盃洋食器
ダイヤ寶石類
寫眞器双眼鏡
測量器製圖器
服部時計店
—◆東京銀座二丁目◆—

大正十二年一月三十日第三種郵便物認可 [illegible] 定價一部十錢（税五厘）發行所 東京市外大井町鈴ヶ森海岸一八九〇（振替東京六八五三）進め社本部